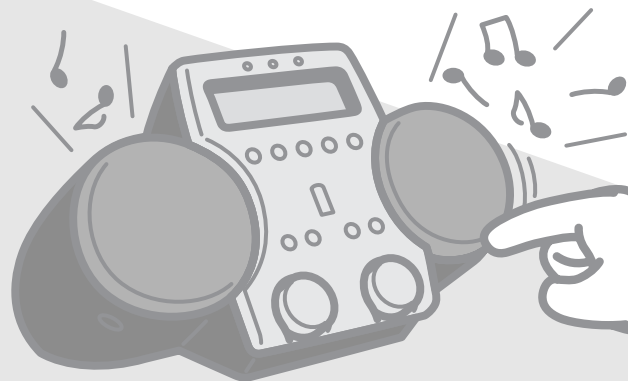
VoiceLab

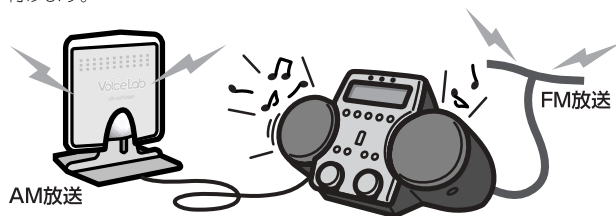
ボスマスターではこんなことができます

簡単検索！ **イラストもくじ** 次ページから➡

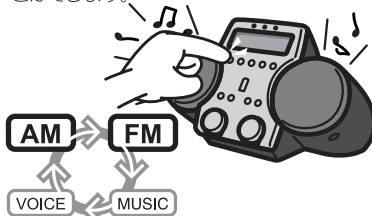
BossMaster
取扱説明書

このたびはボスマスターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、お客様にボスマスターを安全で正しくお使いいただくためのものです。
ボスマスターをお使いになる前に、必ず本書をよくお読みください。お読みになった後は、ボスマスターをお使いになる方がいつでも読むことができるところに大切に保管してください。

ラジオを聴く

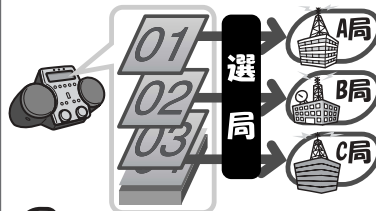
ラジオ放送を聴くには…

ラジオ放送を聴くときは、FM放送／AM放送それぞれの専用アンテナを取り付けます。

21ページ 「アンテナを接続する」参照

AM／FM放送を切り替えるには…

簡単な操作でAM／FM放送を切り替えることができます。

24ページ 「AM／FMラジオを聴く」参照

登録してある放送局を聴くには…

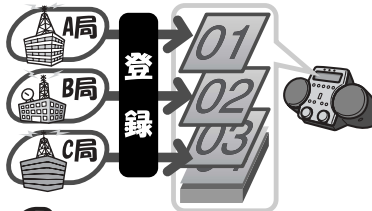
プリセットに登録してある放送局は、簡単な操作で選局することができます。

24ページ 「AM／FMラジオを聴く」参照

放送局を選ぶには…

デジタルチューナーの採用で、確実に放送局の周波数を受信することができます。

25ページ 「選局する」参照

よく聴く放送局を登録するには…

AM／FM放送それぞれ10局ずつの放送局を登録することができます。

27ページ 「放送局を登録する」参照

録音する

ラジオ番組を録音するには...

今聴いているラジオ番組をワンタッチの操作で録音することができます。

32ページ 「ラジオを録音する」参照

マイクを使って録音するには...

付属または市販のマイクロホンを使用して音声などを録音することができます。

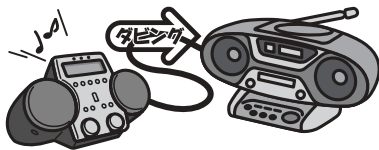
33ページ 「マイクロホンで録音する」参照

ほかの機器から録音するには…

オーディオなどと接続して、外部の音源を録音することができます。

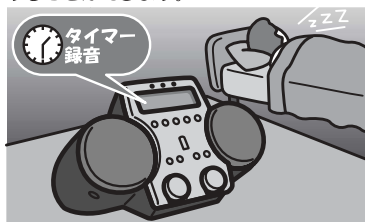
35ページ 「オーディオ機器から録音する」参照

ほかの機器にダビングするには...

ボスマスターで録音したラジオ番組や音声は、外部機器にダビングすることができます。

※パソコンに録音データをコピーする場合は、「パソコンに接続する」(76ページ)を参照

37ページ 「本機からオーディオ機器に録音する」参照

留守番録音するには...

深夜・早朝でも簡単な操作でタイマー録音することができます。

57ページ 「タイマー予約」参照

再生する

消去する

パソコンに接続する

については、次ページをご覧ください。

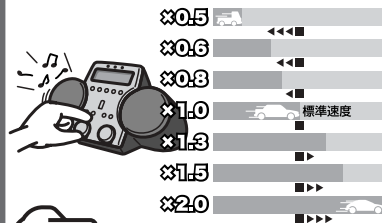
再生する

録音したファイルを聴くには…

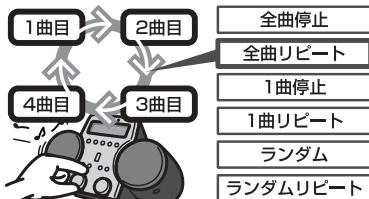
ファイルリストから、簡単な操作でファイルを選ぶことができ、すばやく目的の曲や音声を聴くことができます。

40ページ 「ファイルを再生する」参照

速さを変えて聴くには…

ボスマスターでは、速度調整機能を使って、再生速度を変えることができます。

45ページ 「再生速度を変える」参照

くり返して聴くには…

お好みの曲など、いろいろなパターンのくり返し方法で聴くことができます。

46 47ページ 「再生をくり返す」「区間再生をくり返す」参照

音声を変えるには…

ジャンルに合わせて音質を変えることができ、臨場感にあふれた音楽を楽しむことができます。

50ページ 「音質を選ぶ」参照

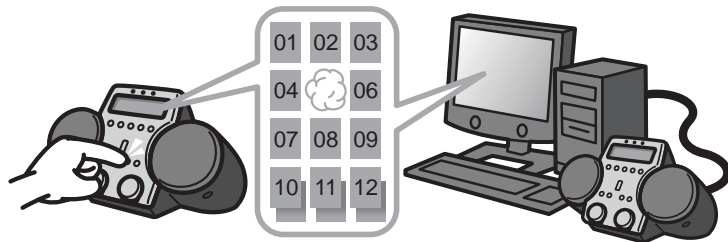
英会話レッスンなどに利用するには…

ボスマスターでは、教材の音声と自分の音声を交互に聞き比べることができます。

51ページ 「レッスン機能を利用する」参照

消去する

データを消去するには…

録音したデータは、確認しながら消去することができます。

54ページ「消去する」参照

パソコンに接続する

外部記憶装置として使用するには…

簡単なUSB接続で、パソコンのデータをボスマスターにダウンロードすることができます。

89ページ「本機とパソコンを接続する」参照

安全にお使いいただくために

本書に使用している記号について

本書では、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示を使用しています。
この表示の内容を無視して取扱を誤った場合生じる可能性のある内容を以下のように表記しています。

以下の内容をよく確認した上で、本文をお読みください。

 警　告 **使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示しています。**

使用者が傷害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定されることを示しています。

絵表示の意味

 記号は、注意すべき内容を示しています。

 記号は、してはいけない内容を示しています。

 記号は、しなければならない内容を示しています。

本機器は一般オフィスや家庭の OA 機器、ないしホビー用途の製品として設計されています。幹線通信機器や、業務の中心となるコンピュータシステム、人命に直接関わる医療機器のような、極めて高い信頼性および安全性が必要とされる機器には、接続しないでください。

万一、異常な臭いがしたり、発熱・発煙した場合は、ただちに使用をやめ、電源を切り、当社までご相談ください。火災、故障の危険があります。

本機器を分解して内部の部品に触れないでください。感電の危険があります。また故障の原因にもなります。この場合は保証期間であっても保証範囲外となりますのでご注意ください。

端子部を手や金属で触れたり、針金等の異物を挿入しないでください。故障、感電の危険があります。

使用電圧、使用温度、使用湿度は巻末の仕様一覧に記載されている定格範囲内でご使用ください。定格外の使用条件で使用された場合、火災、故障の原因になります。

本機器を濡らさないでください。水などの液体ががかると、発熱、感電、故障の原因となります。

内部に異物（金属類や燃えやすい物、ほこり等）が入らないようにしてください。火災、感電、故障の原因になります。

雨、ちり、ほこりの多いところで使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

風呂場など水が直接かかる場所や高温多湿で結露しやすい場所では使用しないでください。火災、感電、故障の原因になります。

直射日光の強いところや、炎天下の車内等、高温な場所での使用、放置はしないでください。発熱、変形、故障の原因となります。

発熱する器具の近くでの使用はさけてください。発熱、変形、故障の原因となります。

静電気や磁界強度の強い場所でのご使用／保管はさけてください。故障の原因となります。

曲げたり、強い衝撃を与えたり、落したり、投げつけたりしないでください。故障、破損、火災の原因となります。

ぐらついた台の上や、不安定な場所に置かないでください。落下により故障やけがの原因となります。

コネクタ部分には無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

乳幼児の手の届かないところで使用／保管してください。けが、感電、故障の原因になります。

電子機器の使用が制限されている場所での使用は控えてください。

ご使用にあたってのお願い

(1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りします。

(2) 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。

(3) 本機器を運用した結果の影響、または誤ったお取り扱いで生じた不具合、または第三者からの損害賠償の請求については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

(4) 機器の故障および修理によるメモリ内容の消失については当社では一切その責任を負いませんのでご了解ください。

(5) 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

(6) キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると磁石の影響で磁気が変化し、カードが使えなくなることがあります。

(7) 顧客または第三者が本機器を正しく使用されなかった場合や本機器が静電気、電気的衝撃を受けた場合は、修理や電池交換の際に記憶内容が変化あるいは消失するおそれがあります。

(8) 本機器は日本国内でのみ使用可能です。海外では規格が異なるため、使用できません。

(9) 本書に記載されているハードウェアもしくはソフトウェアの名称は、各社の商標、もしくは登録商標です。

著作権について

◇ 本取扱説明書の内容に対するすべての著作権はサン電子株式会社にあります。

サン電子株式会社の事前承認なしで、本取扱説明書の全部または一部を無断複製および飜訳配布、また商業的に利用することはできなく、これに違反すると著作権侵害になります。

また、本取扱説明書のすべての内容は、製品の機能および性能向上のために事前予告なしで変更されることがあります。

これによる製品と取扱説明書上の相異によって発生する事項に対する当社の責任はありません。

◇ MP3 ファイルを個人的な用途ではなく、商業的またはサービスの目的で使用することはできません。これに違反することは、国内著作権法に触れる行為になります。

録音した内容を個人的に使用する目的以外に無断複製することは法律で禁止されています。

もくじ

製品内容の確認

お使いになる前に、次の製品内容が揃っていることをご確認ください。

各部の名称と機能

上面部
⑰
①
②
タイマー
SD
INT
メモリー
VoiceLab
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
モード
A–B
周波数
カード/内蔵
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
メニュー
削除
電源
速度調整
戻る
レッスン
押す
音量
⑮
⑯
正面部
DC IN
PHONES
MIC
LINE IN
FM
AM
USB
⑱
⑲
⑳
㉑
㉒
㉓
㉔
背面部

各部の名称と機能（つづき）

正面部		
①	タイマランプ（橙）	点灯：タイマ予約あり 点滅：タイマ録音／再生中 消灯：タイマ予約なし
②	メモリランプ （緑）	SD点灯 ：メモリカード選択中 INT点灯：内蔵メモリ選択中
③	液晶画面	電源OFF時は日付・時刻・タイマ予約リストが表示され、電源ON時は選択モードにより、プリセットリストやファイルリスト、機能情報などが表示されます。
④	［モード］ボタン	モードを切り替えます。
⑤	◀◀ボタン	**【VOICE／MUSICモード】** ファイルを早戻しします。 **【AM／FMモード】** 短押し　　：周波数を下げます。（AMの場合は9KHz単位、FMの場合は0.1MHz単位） 長押し　　：周波数を下げて放送局を自動選局します。 自動選局中：自動選局を停止します。
⑥	■ボタン	**【VOICE／MUSICモード】** 再生／録音を停止します。 **【AM／FMモード】** 受信中　　：FMモード時にステレオ／モノラルを切り替えます。 録音中　　：録音を停止します。 自動選局中：自動選局を停止します。

⑦	▶▶ボタン	**【VOICE／MUSIC モード】** ファイルを早送りします。 **【AM／FM モード】** 短押し　　：周波数を上げます。（AMの場合は 9KHz単位、FMの場合は 0.1MHz単位） 長押し　　：周波数を上げて放送局を自動選局します。 自動選局中：自動選局を停止します。
⑧	［A － B］ ［カード/内蔵］ボタン	**【VOICE／MUSIC モード】** 再生中：A-B間リピート／ワンタッチリピートを開始します。 停止中：内蔵メモリ／メモリカードを選択します。 **【AM／FM モード】** 録音先の内蔵メモリ／メモリカードを選択します。
⑨	動作ランプ	**【VOICE／MUSIC モード】** 緑点灯：再生中 橙点灯：レッスン機能動作中 赤点灯：LINE/MIC入力録音中（MUSICモード） **【AM／FM モード】** 赤点灯：録音中
⑩	▶/ II ボタン	**【VOICE／MUSIC モード】** ファイルを再生／一時停止します。

各部の名称と機能（つづき）

⑪	［メニュー］ボタン	**【VOICE／MUSIC モード】** 再生中：速度調整機能をON／OFFします。 停止中：設定メニュー画面を表示します。 **【ファイル消去確認時】** ファイルを消去します。
⑫	［削除］ ［戻る］ボタン	**【VOICE／MUSIC モード】** 再生中のファイルを消去します。 **【設定メニュー】** 設定項目を前の項目に戻します。 **【ファイル消去確認時】** 消去をキャンセルします。
⑬	●／II ［レッスン］ボタン	**【VOICE／MUSIC モード】** 再生中：レッスン機能の録音を開始／終了します。 停止中：LINE／MIC入力の録音を開始／一時停止します。（MUSICモード） **【AM／FM モード】** AM・FMラジオの録音を開始／一時停止します。
⑭	［電源］ボタン	電源をON／OFFします。

⑮	ジョグダイヤル	**【VOICE ／ MUSIC モード】** 回す　：ファイルリストからファイルを選択します。 　　　　速度調整中は再生速度を選択します。 短押し：選択したファイルの再生を開始します。 **【AM ／ FM モード】** 回す　：プリセットリストから放送局を選択します。 短押し：選択した放送局を受信します。 長押し：受信中の放送局をプリセットリストに登録します。 **【設定メニュー】** 回す　：設定メニューから設定項目を選択します。 短押し：選択した設定項目の設定画面が表示されます。 **【設定メニューで設定時】** 回す　：設定項目／設定内容を選択します。 短押し：設定項目／設定内容を決定します。
⑯	音量調節つまみ	音量を調節します。

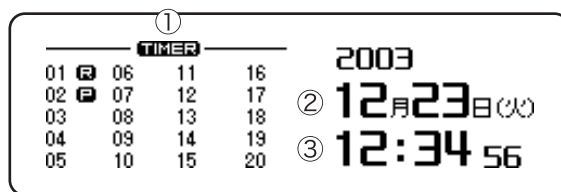
各部の名称と機能（つづき）

基本操作について
ラジオを聴く
録音する
再生する
消去する
設定を変更する
パソコンに接続する

上面部		
⑰	メモリカード挿入口	メモリカードを挿入します。
背面部		
⑱	DC IN端子	付属のACアダプタを接続します。
⑲	PHONES端子	市販のステレオイヤホンを接続します。 ステレオイヤホンを接続すると、スピーカからの音は聞こえなくなります。
⑳	MIC／LINE IN 切替スイッチ	マイクロホンを接続する場合は左に、オーディオケーブルを接続する場合は右に切り替えます。
㉑	MIC／LINE IN端子	MIC／LINE IN切替スイッチでMICを選択時　：付属のマイクロホンを接続します。 MIC／LINE IN切替スイッチでLINE INを選択時：付属のオーディオケーブルを接続します。
㉒	FMアンテナ端子	付属のFM用フィーダアンテナを接続します。
㉓	AMアンテナ端子	付属のAM用ループアンテナを接続します。
㉔	USB端子	付属の専用USBケーブルを接続します。

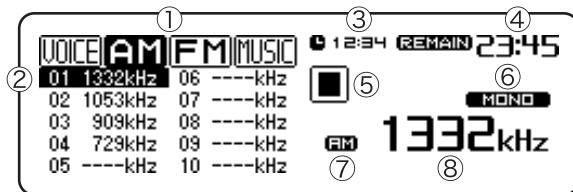
画面表示について

スタンバイ画面

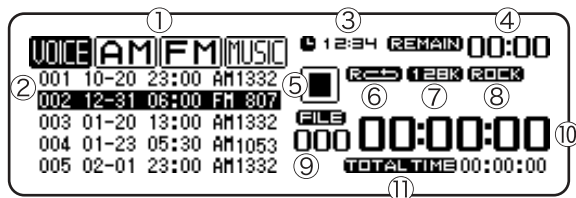
電源を切るとスタンバイ状態になります。スタンバイ画面には次の内容が表示されます。

①	タイマ	タイマ予約リストが表示されます。タイマ予約番号の横に表示されるPは再生予約、Rは録音予約を表わします。
②	日付	年／月／日／曜日が表示されます。
③	時刻	現在の時刻（時／分／秒）が表示されます。

画面表示について（つづき）

AM／FMモード画面

AM／FMモード選択時の画面には次の内容が表示されます。

①	モード	選択中のモードが反転表示されます。
②	プリセットリスト	プリセットされている放送局のプリセット番号と周波数が表示されます。
③	時刻	現在の時刻が表示されます。
④	リメイン時間	選択中のモードで録音できる残り時間（メモリ残量）が表示されます。録音時間については『録音時間について』（P.92）を参照してください。
⑤	動作表示	■ … 受信中 ● … AM／FM放送録音中 II … AM／FM放送録音一時停止中
⑥	ステレオ／モノラル	STEREO／MONOが表示されます。（STEREOはFMモードのみ）
⑦	AM／FM	AM／FMが表示されます。
⑧	受信周波数	受信中の周波数が表示されます。

VOICE／MUSICモード画面

VOICE／MUSICモード選択時の画面には次の内容が表示されます。

①	モード	選択中のモードが反転表示されます。
②	ファイルリスト	録音されているファイルのファイル番号／ファイル情報が表示されます。
③	時刻	現在の時刻が表示されます。
④	リメイン時間	選択中のモードで録音できる残り時間（メモリ残量）が表示されます。録音時間については『録音時間について』（P.92）を参照してください。
⑤	動作表示	■ … 停止時 ▶ … 再生中 ● … 録音中 II … 一時停止中 ◀◀ … 早戻し中 ▶▶ … 早送り中

画面表示について（つづき）

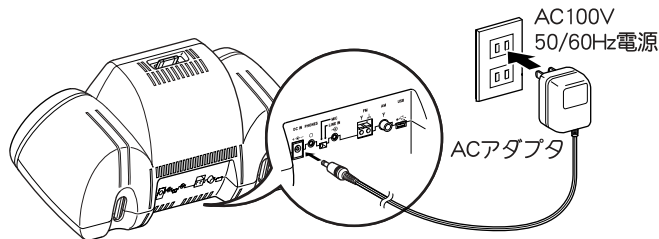
⑥	ファイルリピート	設定されているファイルリピート機能が表示されます。 ファイルリピート機能については『再生をくり返す（ファイルリピート機能）』（P.46）参照してください。 A …全曲停止　　　：すべてのファイルを番号順に再生して停止します。 A …全曲リピート　：すべてのファイルを番号順にリピート再生します。 1 …1曲停止　　　：1ファイルのみを再生して停止します。 1 …1曲リピート　：1ファイルのみをリピート再生します。 R …ランダム　　　：すべてのファイルを順不同に再生して停止します。 R …ランダムリピート：すべてのファイルを順不同にリピート再生します。
⑦	ビットレート	再生ファイルのビットレートが表示されます。
⑧	イコライザ	設定されているイコライザ機能が表示されます。 イコライザについては、『音質を選ぶ（イコライザ機能）』（P.50）を参照してください。 NOR …標準再生 CLA …クラシックに最適な音質 LIVE …ライブに最適な音質 POP …ポップスに最適な音質 ROCK …ロックに最適な音質 ATT …標準再生で音量が20dB下がります
⑨	ファイル番号	選択しているファイルのファイル番号が表示されます。
⑩	カウンター	再生ファイルのカウンター（時間）が表示されます。
⑪	TOTAL TIME	再生ファイルの録音時間が表示されます。

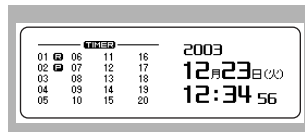
AC アダプタを接続する

本機に付属の AC アダプタを接続します。

接続のしかた

1 家庭用電源コンセントに AC アダプタを差し込みます。

2 本機の DC IN 端子に AC アダプタのプラグを接続します。

3 スタンバイ画面が表示されます。

タイマ予約リスト・日付・時間が表示されます。
日付・時間の設定方法については、『３.日付・時刻・地域』(P.64) を参照してください。

※ 付属のACアダプタ以外は使用しないでください。

※ 電源が入っている状態でACアダプタを抜かないでください。ACアダプタを抜くときは、必ず本機の電源を切ってください。

ボタン操作について

ボタンの操作方法には、短く押す「短押し」と、長めに押す「長押し」の２通りがあります。
本書では、特に指示がないボタン操作を「短押し」としています。
長押しの指示がある場合は、画面を見ながらボタンを押し続け、表示が変わったら離してください。

	動作	本書の表記
長押し	押す →（画面が変わるまで押し続ける）（長い）→ 離す	長
短押し	押す →（短い）→ 離す（1秒以内）	短

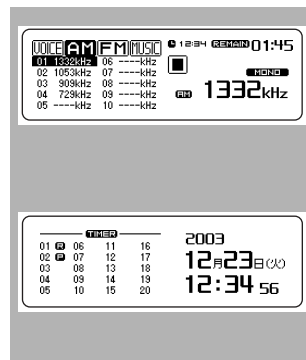
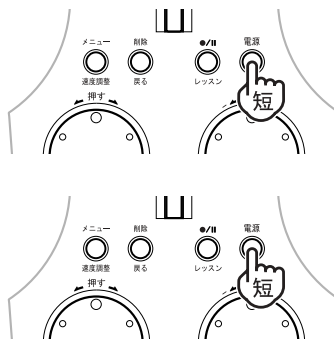
電源を入れる／切る

1 電源を入れるときは、［電源］ボタンを押します。

電源が入り、スタンバイ画面からモード画面に切り替ります。

モード画面では、前回電源を切った際のモードが選択されています。

2 電源を切るときは、再度［電源］ボタンを押します。

電源が切れ、モード画面からスタンバイ画面に切り替ります。

スリープタイマ機能

一定時間経過すると自動的に電源が切れる機能です。ただし、録音中に電源が切れることはありません。

電源が切れるまでの時間は、設定メニューの「1 スリープタイマー」で設定することができます。スリープタイマの設定方法については、『1.スリープタイマ』（P.56）を参照してください。

タイマ予約機能

タイマ予約することにより、自動的に再生（ラジオを含む）／録音する機能です。最大20通りの予約をすることができます。

タイマ予約は、設定メニューの「2 タイマー予約」で設定することができます。タイマ予約の設定方法については、『2.タイマ予約（予約録音／予約再生）』（P.57）を参照してください。

日付・時刻・地域を設定する

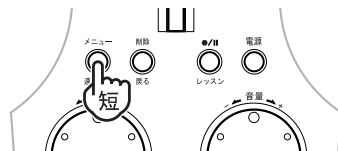
本機をご使用になる前に、設定メニューで日付・時刻・地域を設定してください。

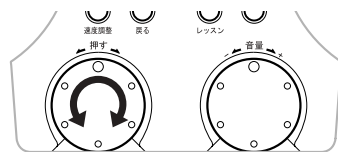
日付・時刻を設定することにより、タイマ予約が可能になります。

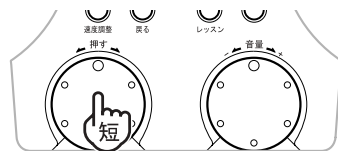
地域を設定することにより、設定した地域で受信できる主なNHKおよび民放のAM放送局とFM放送局がプリセットリストに自動的に登録され、放送局の選局操作や登録操作をしなくても簡単な操作でラジオを聴くことができます。

設定方法は、以下のとおりです。

1 ［メニュー］ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

2 ジョグダイヤルを回して、「3 日付・時刻・地域」を選択します。

［戻る］ボタンを押すと設定メニューを終了し、元のモード画面に戻ります。

3 ジョグダイヤルを押します。

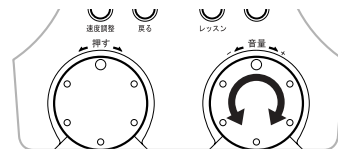
日付・時刻・地域の設定を開始します。

以降の操作方法については、『3.日付・時刻・地域』（P.64）を参照してください。

音量を調節する

音量つまみを回して、お好みの音量に調節します。

◇ 右（+側）に回すと音量が大きくなります。

◇ 左（−側）に回すと音量が小さくなります。

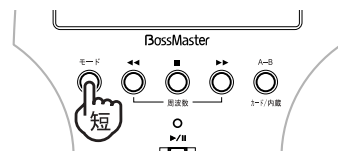
録音中の音量調節はモニター音量の調節で、録音レベルとは関係ありません。

※ 適切な音量でお聴きください。
音がひずむ場合は、音量を下げてください。

※ アッテネータについて
微小音量で聴きたいときは、イコライザの設定で「アッテネータ」を選択すると音量を-20dB下げることができます。イコライザの設定方法については、『4.イコライザ』(P.71）を参照してください。

モードを選択する

本機には、4つのモードがあります。モードの選択は［モード］ボタンで行います。
モードの選択方法は、以下のとおりです。

［モード］ボタンを押します。

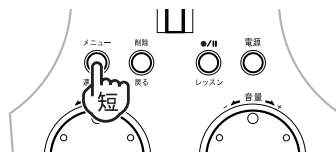
VOICE⇒AM⇒FM⇒MUSIC⇒VOICEの順にモードが切り替ります。
選択されているモードは反転表示されます。

各モードの内容と画面表示は以下のとおりです。

モード	内　　容	画面表示
VOICE	AM／FMモード（AM／FMラジオ）で録音されたファイルを再生するモードです。また､Masterシリーズのトークマスターで録音したRVFファイルもこのモードで再生します。	
AM	AMラジオを受信／録音するモードです。	
FM	FMラジオを受信／録音するモードです。	
MUSIC	パソコンからダウンロードしたファイルはこのモードで再生します。 また、MIC／LINE端子から録音したファイルもこのモードで再生します。	

設定メニューで設定を変更する

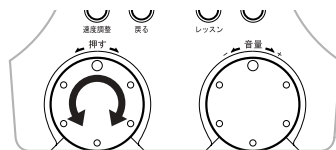
本機には、9 つの設定項目が用意されています。使いかたに合わせて設定を変更してください。
設定の変更は設定メニューで行います。

設定の変更方法は、以下のとおりです。

1 ［メニュー］ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

2 ジョグダイヤルを回して、設定項目を選択します。

選択している設定項目が反転表示されます。

［戻る］ボタンを押すと設定メニューを終了し、元のモード画面に戻ります。

3 ジョグダイヤルを押します。

選択した設定項目の設定画面が表示されます。

［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

※ 設定メニューのどの画面からでも［メニュー］ボタンを押すことにより、設定メニューを終了して元のモード画面に戻ることができます。

以降の操作については、選択した設定項目により異なります。
各設定項目の変更方法は、『設定の変更のしかた』（P.56）を参照してください。

設定メニューで設定を変更する（つづき）

各設定項目の内容と画面表示は以下のとおりです。

設定項目	内　　容	画面表示
1　スリープタイマ	電源が自動的に切れるまでの時間を設定します。 スリープタイマの設定後は、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。 設定方法については、『1.スリープタイマ』⇒P.56を参照	スリープタイマー スリープタイマー設定　３０分
2　タイマ予約	ラジオ受信／再生／録音のタイマ予約に関する内容を設定します。 設定方法については、『2.タイマ予約（予約録音／予約再生）』⇒P.57を参照	タイマー予約番号　０１ 動作　ＯＦＦ　入力　ＭＵＳＩＣ ﾌｧｲﾙ　０００　メモリ　内蔵メモリ 曜日　月 火 水 木 金 土 日 開始時間　００：００ － 終了時間　００：００
3　日付・時刻・地域	日付・時刻および地域（放送局プリセットのため）を設定します。 設定方法については、『3.日付・時刻・地域』⇒P.64を参照	日付・時刻・地域 日付　２００３年１２月２３日　火曜日 時刻　１２時３４分 地域　名古屋圏 ＮＨＫ-ＦＭ周波数　８２．５ＭＨｚ
4　イコライザ	再生イコライザ（音質）を設定します。 設定方法については、『4.イコライザ』⇒P.71を参照	イコライザー 再生イコライザー設定　ＯＦＦ
5　インデックスマーク	インデックスマークの設定／再生を行います。 インデックスマークとは、ファイルの任意の位置を記憶させておき、後からその場所を呼び出して再生できる機能です 設定方法については、『5.インデックスマーク』⇒P.72を参照	インデックスマーク File　time Index 1　01-16 15:20 AM 900　00:43:00 Index 2　--------　00:00:00 Index 3　--------　00:00:00

基本操作について
ラジオを聴く
録音する
再生する
消去する
設定を変更する
パソコンに接続する

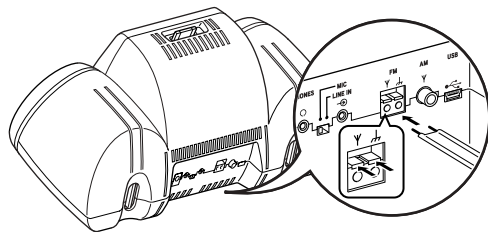
設定項目	内　　容	画面表示
6　ファイルリピート	リピート再生の方法を設定します。 設定方法については、『6.ファイルリピート』⇒P.74を参照	ファイルリピート ファイルリピート設定　全曲停止
7　ワンタッチリピート	A-B間リピート／ワンタッチリピート（リピート時間）を設定します。 設定方法については、『7.ワンタッチリピート』⇒P.75を参照	ワンタッチリピート ワンタッチリピート設定　A－B間
8　録音ビットレート	AM／FM／ライン録音時のビットレート（音質）を設定します。 設定方法については、『8.録音ビットレート』⇒P.76を参照	録音ビットレート AM録音時　16Kbps / 11KHz　MONO FM録音時　64Kbps / 22.05KHz　STEREO ライン録音時　128Kbps / 44.1KHz　STEREO
9　メモリ （設定項目ではありません）	内蔵メモリからメモリカードへのコピー、内蔵メモリ／メモリカードのフォーマット、内蔵メモリ／メモリカードのチェックを行います。 操作方法については、『9.メモリ』⇒P.78を参照	メモリ メモリコピー　内蔵メモリ→SDカード フォーマット　内蔵メモリ メモリチェック　内蔵メモリ
10　ユーティリティ	液晶画面のコントラスト（淡／濃）およびスタンバイ画面の照明（明／暗）を設定します。 また、本機のバージョン情報を確認することもできます。 設定方法については、『10.ユーティリティ』⇒P.84を参照	ユーティリティー コントラストの調整 スタンバイ時の照明 製品名　BossMaster バージョン　Ver 0.96

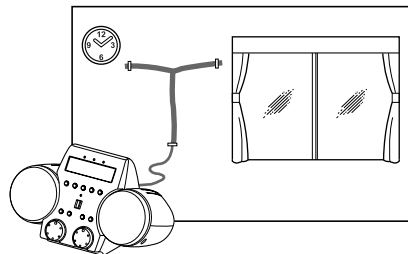
※ 設定項目を初期値（工場出荷時設定）に戻すことができます。
　初期化の方法については、『設定を初期化するには』（P.88）を参照してください。

アンテナを接続する

基本操作について
ラジオを聴く
録音する
再生する
消去する
設定を変更する
パソコンに接続する

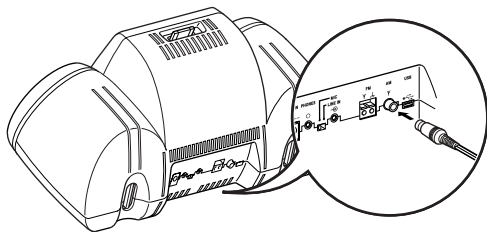
FM用フィーダアンテナの接続

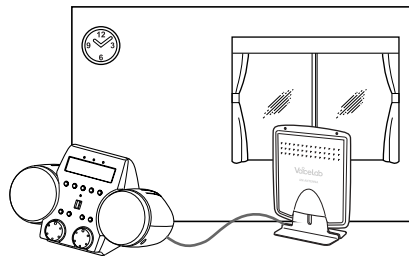
1 本機背面部のFMアンテナ端子の上にあるボタンを押して、付属のFM用フィーダアンテナを接続します。

2 FM用フィーダアンテナをテープなどで壁や柱に固定します。

実際にFM放送を受信して、雑音が少なく受信状態が良好な位置にFM用ケーブルアンテナを固定してください。

※ FM放送の受信で雑音が多い場合は、■ボタンを押してステレオ（STEREO）からモノラル（MONO）に切り替えてください。雑音が減少し聴きやすくなります。

※ 本機には、時刻自動調整機能が付いています。時刻自動調整機能とは、NHK-FM放送の時報を利用して時刻を自動的に補正する機能です。FM放送が受信できないと時刻自動調整機能が働きませんので、FMアンテナを接続してください。

AM用ループアンテナの接続

1 本機背面部のAMアンテナ端子に付属のAM用ループアンテナのプラグを差し込みます。

2 AM用ループアンテナの位置を調整します。

実際にAM放送を受信して、雑音が少なく受信状態が良好な位置および方向にAM用ループアンテナを置いてください。

※ AM放送ではアンテナを接続しないと一切受信することはできません。AM放送をお聴きになる場合は、必ず付属のAM用ループアンテナを接続してください。

※ AMラジオはアンテナの位置や向きで受信状態が大きく変わります。
受信状態が悪い場合はアンテナの位置や向きをいろいろ変えてお試しください。

アンテナを接続する（つづき）

※ AM用ループアンテナの設置場所について
電波の受信状態は周囲の環境に大きく左右され、特にAM放送ではその傾向が顕著に表れます。
以下の方法で受信状態が改善されることがあります。受信状態が悪い場合は一度お試しください。

◇ 家電製品からアンテナを遠ざける

テレビや電灯など多くの家電製品は、少なからずラジオに有害なノイズを出しています。
家電製品からアンテナを遠ざけてみてください。

◇ 窓際にアンテナを置く

ビルや鉄骨住宅内では特に電波が弱くなります。
窓際にアンテナを置いてみてください。特に放送局（送信所）方向の窓際がよいでしょう。

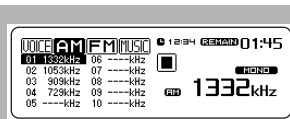
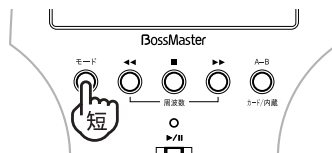
AM ／ FM ラジオを聴く

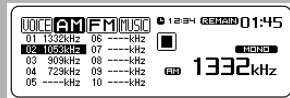
AM ／ FM ラジオを聴くために、必ず付属の AM 用ループアンテナと FM 用のフィーダアンテナを接続してください。接続方法については、『アンテナを接続する』（P.21）を参照してください。

また、設定メニューの地域を設定することで、設定した地域で受信できる主なNHK および民放の AM 放送局と FM 放送局がプリセットリストに自動的に登録され、放送局の選局操作や登録操作をしなくても簡単な操作でラジオを聴くことができます。地域の設定方法については、『３.日付・時刻・地域』（P.64）を参照してください。

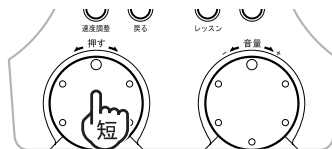
1 ［モード］ボタンを押して、AM または FM モードを選択します。

ボタンを押すごとに、VOICE ⇒ AM ⇒ FM ⇒ MUSIC ⇒ VOICE の順に切り替わります。

選択しているモードが反転表示されます。

2 ジョグダイヤルを回して、プリセットリストから受信したい放送局を選択します。

選択している放送局が反転表示されます。

3 ジョグダイヤルを押します。

選択した放送局のラジオを聴くことができます。

画面には受信している放送局の周波数が表示されます。

選局する

設定メニューの地域が設定されていれば、プリセットリストにその地域の放送局がプリセットされていますのでジョグダイヤルで選択するだけでラジオを聴くことができます。
プリセットされていない放送局を選局する場合は、以下の手動選局と自動選局の二通りの方法があります。

周波数ボタンの◀◀または▶▶を短押しすると手動選局、長押しすると自動選局になります。

手動選局

周波数ボタンの◀◀または▶▶を押すと、手動で周波数を変化させることができます。

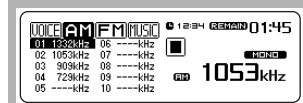
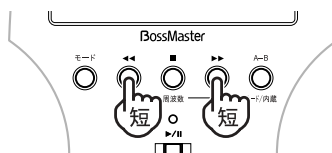
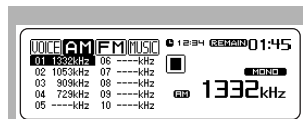
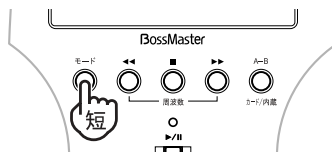
1 **[モード] ボタンを押して、AM または FM モードを選択します。**

ボタンを押すごとに、VOICE ⇒ AM ⇒ FM ⇒ MUSIC ⇒ VOICE の順に切り替わります。

選択しているモードが反転表示されます。

2 **周波数ボタンの◀◀または▶▶を押して、放送局の周波数に合わせます。**

◀◀ボタンを押すと周波数は低くなり、▶▶ボタンを押すと周波数は高くなります。

なお、周波数は AM の場合 9KHZ 単位で、FM の場合 0.1MHz単位で変化します。

自動選局

周波数ボタンの◀◀または▶▶を長押しすると、放送局の電波を受信するまで自動的に周波数を変化させることができます。

1 ［モード］ボタンを押して、AMまたはFMモードを選択します。

ボタンを押すごとに、VOICE ⇒ AM ⇒ FM ⇒ MUSIC ⇒ VOICE の順に切り替わります。

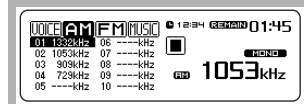
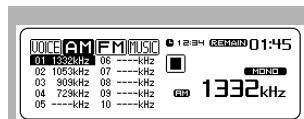
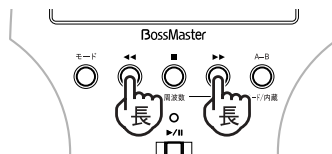
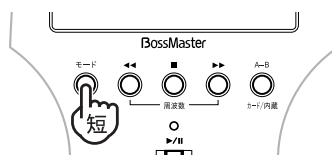
選択しているモードが反転表示されます。

2 周波数ボタンの◀◀または▶▶を長押しします。

◀◀ボタンを押すと周波数は低い方向へ、▶▶ボタンを押すと周波数は高い方向へ放送局の電波を受信するまで変化します。

放送局の電波を受信すると、自動的に選局を停止します。

自動選局した放送局が目的の放送局でない場合は、再度自動選局してください。

※自動選局を途中で止める場合は、■ボタンを押してください。

※ 放送局以外の電波を受信した場合でも自動選局したと判断して自動的に選局を停止します。

※ 放送局の電波が弱く自動選局できない場合は手動選局してください。

放送局を登録する

受信している放送局をプリセットリストに登録することができます。
プリセットリストには、AM／FMともに 10 局まで登録することができます。

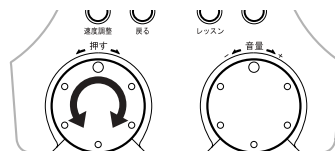
プリセットリストに放送局が登録されていると、簡単な操作でラジオを聴くことができます。

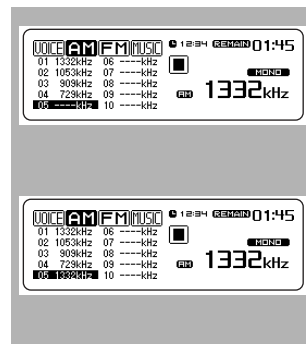
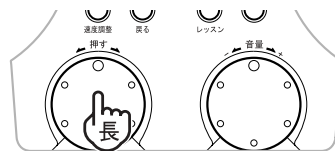
1 登録したい放送局を選局します。

選局の方法については『選局する』（P.25）を参照してください。

2 ジョグダイヤルを回して、放送局を登録するプリセット番号を選択します。

選択しているプリセット番号が反転表示されます。

すでに登録されているプリセット番号を選択した場合は、上書きされます。

3 ジョグダイヤルを長押しします。

選択したプリセット番号に放送局が登録され、周波数が表示されます。

※ 登録されている放送局を変更するには、上記の手順で上書きしてください。

※ 登録されている放送局を消去するには、プリセットリストから消去する放送局を選択した後、［削除］ボタンを長押しします。

録音する前に

手動録音またはタイマ予約録音をする前に、次の選択・確認を行ってください。

◇ 録音するメモリ（内蔵メモリ／メモリカード）の選択

◇ メモリ残量の確認

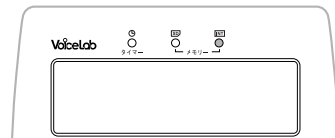
◇ ビットレート（録音音質）の選択【通常は初期設定を変える必要はありません】

選択・確認方法は以下のとおりです。

録音するメモリを選択する

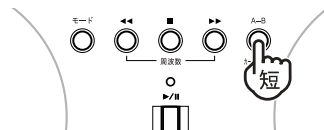
録音するメモリは本機上部のメモリランプで確認することができます。

メモリランプの点灯を確認します。

SDランプ点灯（緑）：メモリカード
INTランプ点灯（緑）：内蔵メモリ

メモリカードを装着すると、次の操作で録音するメモリを選択することができます。

［A-B］ボタンを押します。

［A-B］ボタンを押すごとに録音するメモリ（内蔵メモリ／メモリカード）が交互に切り替わり、メモリランプ（SD／INT）が点灯します。

※メモリカードが装着されていない場合、［A-B］ボタンは無効です。

※ タイマ予約で録音する場合は、タイマ予約の設定で録音するメモリを選択することができます。

録音する前に（つづき）

メモリ残量を確認する

録音中にメモリが不足すると自動的に録音を停止します。録音を失敗しないために、メモリ残量を確認してください。

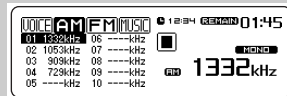
メモリ残量は、録音できる残り時間として確認することができます。

画面右上のREMAINに、録音できる残り時間（メモリ残量）が表示されています。

表示されているREMAIN時間は、現在選択しているモード（AM／FM／MUSIC）で録音した場合のもので、モードを切り替えるとREMAIN時間は変化します。

これは、録音時のビットレートによりREMAIN時間が変化するためです。

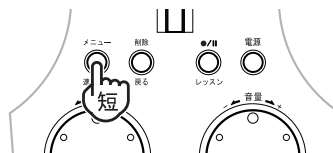
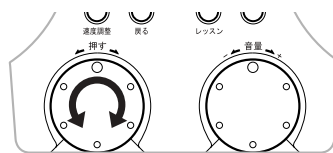
ビットレートの値が高い（高音質）ほど録音に使用されるメモリ量は多くなります。
したがって、設定されているビットレートの値が高い（高音質）ほどREMAIN時間は少なくなり、ビットレートの値が低い（低音質）ほどREMAIN時間は多くなります。

※ メモリ残量が少ない場合は、不要なファイルを消去してください。
ファイルの消去については、『ファイルを消去する』（P.54）を参照してください。

ビットレートを選択する

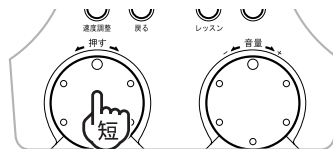
録音ビットレートとは録音時の音質を表わす数値のことです。AM録音時／FM録音時／ライン録音時ごとに標準的なビットレートが初期設定されていますので、通常は変更する必要はありません。

録音ビットレートは、設定メニューで確認・変更することができます。

1 ［メニュー］ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

2 ジョグダイヤルを回して、「8 録音ビットレート」を選択します。

3 ジョグダイヤルを押します。

録音ビットレートの設定画面が表示されます。

録音ビットレートの設定画面には、AM録音時／FM録音時／ライン録音時のビットレートが表示されています。

録音ビットレートの設定を変更するには、『8 .録音ビットレート』（P.76）を参照してください。

録音する前に（つづき）

※ ビットレートとは
128Kbps／44.1KHzの場合、128Kbpsがビットレート、44.1KHzがサンプリングレートです。

・ビットレート
１秒間録音するために必要なデータ量を表わし、数値が高いほど密度の高い音質（高音質）になります。
ただし、高ビットレートであるほど記憶容量は増加します。

・サンプリングレート
音声信号を１秒間にどれくらい細かく分割してアナログデータからデジタルデータに変換するかを表わし、数値が高いほど再生できる音域が広くなります。
ただし、高サンプリングレートであるほど記憶容量は増加します。

※ ビットレートの初期設定値
AM録音時　　：16Kbps / 11KHz
FM録音時　　：64Kbps / 22.05KHz
ライン録音時：128Kbps / 44.1KHz

録音する

ラジオを録音する

タイマ予約で録音する場合は、『2.タイマ予約（予約録音／予約再生）』（P.57）を参照してください。

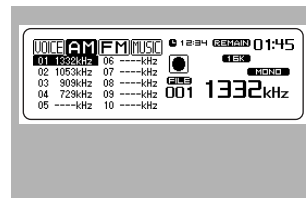
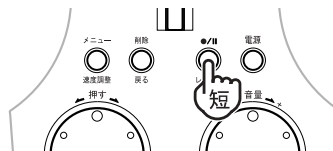
1 ラジオを受信してください。

ラジオの受信については、『AM／FMラジオを聴く』（P.24）を参照してください。

2 ●/ II ボタンを押します。

録音を開始します。

- 動作ランプが赤色で点灯します。
- 画面の動作表示が■から●に変わり、ファイル番号と録音経過時間が表示されます。

※ファイル番号は自動的にナンバリングされます。

※ 録音できる残り時間（メモリ残量）については、『メモリ残量を確認する』（P.29）を参照してください。

基本操作について
ラジオを聴く
録音する
再生する
消去する
設定を変更する
パソコンに接続する

録音する（つづき）

マイクロホンで録音する

本機に付属または市販のマイクロホンを接続して音声などを録音することができます。
タイマ予約で録音する場合は、『2.タイマ予約（予約録音／予約再生）』（P.57）を参照してください。

1 本機の背面部にあるMIC／LINE IN 切替スイッチをMIC側（左側）にします。

2 本機の背面部にあるMIC／LINE IN端子にマイクロホンを接続します。

※プラグが3.5mmタイプのマイクロホンをご使用ください。

3 ［モード］ボタンを押して、MUSICモードを選択します。

ボタンを押すごとに、VOICE ⇒ AM ⇒ FM ⇒ MUSIC ⇒ VOICE の順に切り替わります。

4 ●/ II ボタンを押します。

録音を開始します。

- 動作ランプが赤色で点灯します。
- 画面の動作表示が■から●に変わり、ファイル番号と録音経過時間が表示されます。

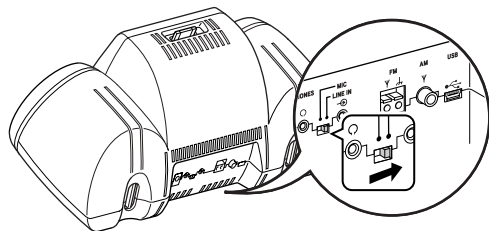
※ファイル番号は自動的にナンバリングされます。

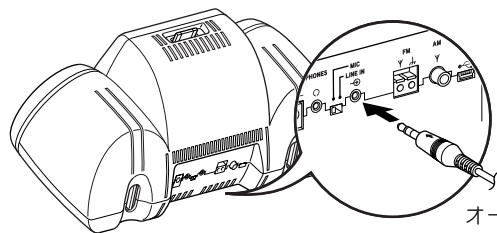
※ 録音できる残り時間（メモリ残量）については、『メモリ残量を確認する』（P.29）を参照してください。

録音する（つづき）

オーディオ機器から録音する

本機とコンポやラジカセなどのオーディオ機器を付属のオーディオケーブルで接続して、オーディオ機器のCDやMD、カセットテープなどの内容を録音することができます。
タイマ予約で録音する場合は、『2.タイマ予約（予約録音／予約再生）』（P.57）を参照してください。

1 本機の背面部にあるMIC／LINE IN切替スイッチをLINE IN側（右側）にします。

2 本機の背面部にあるMIC／LINE IN端子とオーディオ機器のヘッドホン端子をオーディオケーブルで接続します。

※オーディオ機器には、プラグが3.5mmタイプのヘッドホン端子が必要です。

3 ［モード］ボタンを押して、MUSICモードを選択します。

ボタンを押すごとに、VOICE ⇒ AM ⇒ FM ⇒ MUSIC ⇒ VOICE の順に切り替わります。

4 ●/II ボタンを押します。

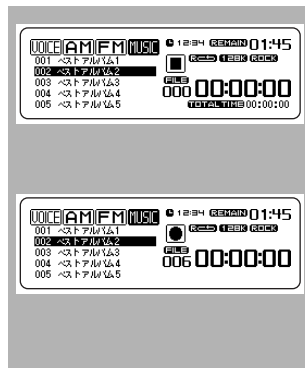
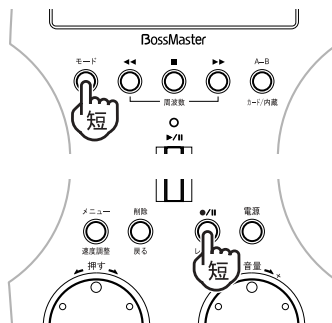
録音を開始します。

- 動作ランプが赤色で点灯します。
- 画面の動作表示が■から●に変わり、ファイル番号と録音経過時間が表示されます。

※ファイル番号は自動的にナンバリングされます。

5 オーディオ機器の再生ボタンを押します。

オーディオ機器からの再生内容が本機に録音されます。

※オーディオ機器の操作については、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

※ 録音できる残り時間（メモリ残量）については、『メモリ残量を確認する』（P.29）を参照してください。

※ 他のオーディオ機器から本機へ録音する場合、録音レベルの調整はオーディオ機器のボリュームで調整することになります。事前に録音テストを行い適切な音量で録音されるようにボリューム調整を行なってください。

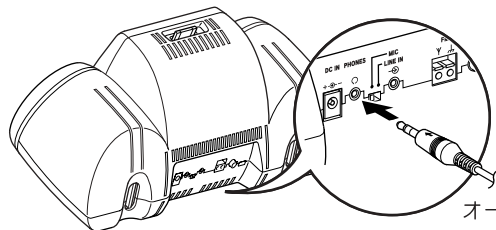
基本操作について
ラジオを聴く
録音する
再生する
消去する
設定を変更する
パソコンに接続する

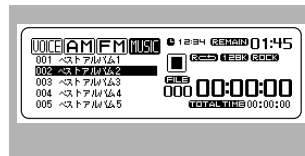
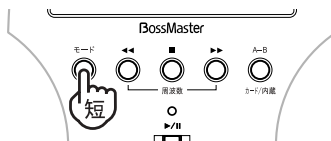
録音する（つづき）

本機からオーディオ機器に録音する

本機とコンポやラジカセなどのオーディオ機器を付属のオーディオケーブルで接続して、本機に録音されている内容をオーディオ機器のMDやカセットテープなどに録音することができます。

1 本機の背面部にあるPHONES端子（ヘッドホン端子）とオーディオ機器の外部入力端子（マイク端子など）を付属のオーディオケーブルで接続します。

※オーディオ機器には、プラグが3.5mmタイプの外部入力端子が必要です。

2 [モード]ボタンを押して、VOICEまたはMUSICモードを選択します。

ボタンを押すごとに、VOICE⇒AM⇒FM⇒MUSIC⇒VOICEの順に切り替わります。

3 オーディオ機器で録音を開始します。

4 本機でファイルの再生を開始します。

ファイルの再生については、『ファイルを再生する』（P.40）を参照してください。

※ オーディオ機器への録音はヘッドホン端子からの出力で録音するため、録音レベルを本機の音量で調整する必要があります。事前に録音テストを行い、適切な音量に調整しておいてください。

一時停止する

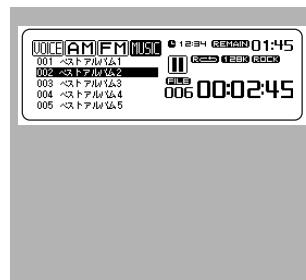
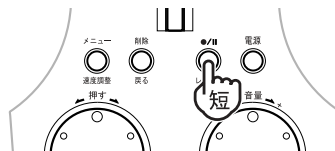
録音中に録音を一時停止させることができます。
ただし、タイマ予約での録音中は一時停止できません。

録音中に●/IIボタンを押します。

録音を一時停止します。

- 動作ランプが消灯します。
- 画面の動作表示が●からIIに変わります。

一時停止を解除して録音を再開させるには、再度●/IIボタンを押します。

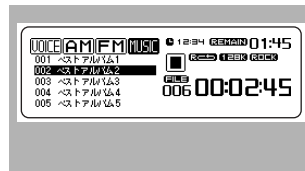
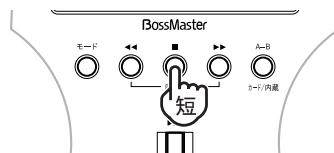
- 動作ランプが赤色で点灯します。
- 画面の動作表示がIIから●に変わります。

録音する（つづき）

停止する

録音中に録音を停止させます。

録音中に■ボタンを押します。

録音を停止します。

- 動作ランプが消灯します。
- 画面の動作表示が●から■に変わります。

※ タイマー予約の録音を停止させる場合は、■ボタンを長押ししてください。録音を停止し、電源が切れてスタンバイ状態になります。

録音中にメモリが不足すると

録音中にメモリが不足した場合は、画面に「メモリが一杯になりましたなにかボタンを押してください」のメッセージが表示され、録音を停止します。

いずれかのボタンを押すとメッセージが消去され、通常の操作ができるようになります。

※ メモリが不足した場合は、不要なファイルを消去してください。
ファイルの消去については、『ファイルを消去する』（P.54）を参照してください。

※ 録音できる残り時間（メモリ残量）については、『メモリ残量を確認する』（P.29）を参照してください。

ファイルを再生する

再生可能なファイル形式は、MP3／WMA／RVFファイルです。
タイマ予約で再生する場合は、『2.タイマ予約（予約録音／予約再生）』（P.57）を参照してください。

再生する

1 ［モード］ボタンを押して、VOICE または MUSICモードを選択します。

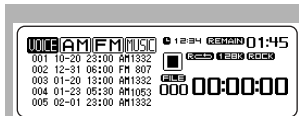
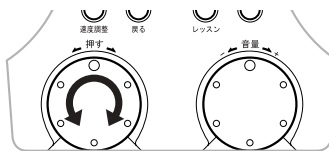
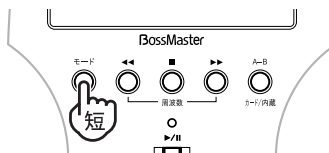
◇VOICEモード
本機のAM／FMモード（AM／FMラジオ）で録音されたファイル、Master シリーズのトークマスターで録音したRVFファイルを再生することができます。

◇MUSICモード
本機のMIC／LINE入力で録音されたファイル、パソコンからダウンロードされたファイルを再生することができます。

ボタンを押すごとに、VOICE ⇒ AM ⇒ FM ⇒ MUSIC ⇒ VOICE の順に切り替わります。

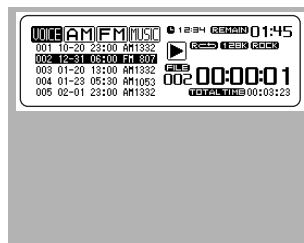
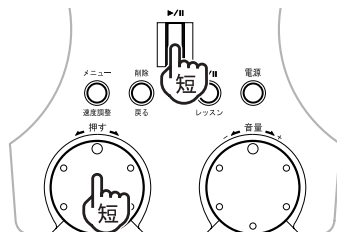
選択しているモードが反転表示されます。

2 ジョグダイヤルを回して、ファイルリストから再生するファイルを選択します。

選択しているファイルが反転表示されます。

ファイルを再生する（つづき）

3 ジョグダイヤルを押す、または▶/ IIボタンを押します。

選択したファイルの再生を開始します。

- 動作ランプが緑色で点灯します。
- 画面の動作表示が■から▶に変わり、リピート、ビットレート、イコライザの情報、ファイル番号と再生カウンター（時間）が表示されます。

一時停止する

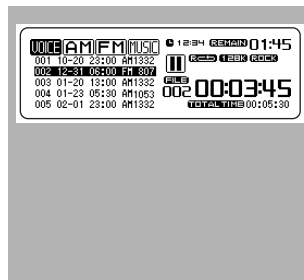
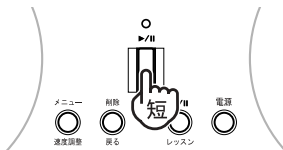
再生中のファイルを一時停止します。
ただし、タイマ予約での再生中は一時停止できません。

再生中に▶/ IIボタンを押します。

再生を一時停止します。

- 動作ランプが消灯します。
- 画面の動作表示が▶からIIに変わります。

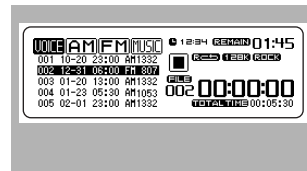
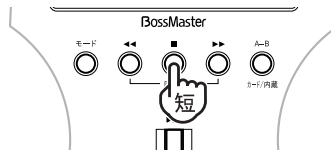
一時停止を解除して再生を再開させるには、再度▶/ IIボタンを押します。

- 動作ランプが緑色で点灯します。
- 画面の動作表示がIIから▶に変わります。

停止する

再生中のファイルを停止します。

再生中に■ボタンを押します。

再生を停止し、再生中のファイルの先頭に戻ります。

- 動作ランプが消灯します。
- 画面の動作表示が▶から■に変わります。

※ タイマー予約の再生を停止させる場合は、■ボタンを長押ししてください。再生を停止し、電源が切れてスタンバイ状態になります。

ファイルを再生する（つづき）

早送り／早戻しする

再生中または停止、一時停止しているファイルを早送り／早戻しします。
ただし、タイマ予約での再生中は早送り／早戻しできません。

▶▶ボタンを押すと、早送りします。

◇ 再生中に ▶▶ ボタンを押すと

10倍速で早送りします。

再生中のファイルの終端まで早送りし、次のファイルの先頭で停止します。

早送り中は、画面の動作表示が▶▶になります。

再生中のファイルがMP3ファイルの場合は、10倍速で再生（キュルキュル音）しながら早送りします。WMA、RVFファイルの場合は無音です。

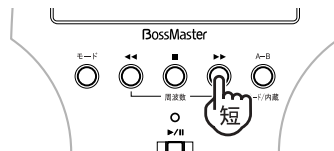
◇ 停止／一時停止中に ▶▶ ボタンを押すと

100倍速で早送りします。

停止時はファイルの先頭から終端まで、一時停止中は一時停止位置から終端まで早送りし、次のファイルの先頭で停止します。

早送り中は、画面の動作表示が▶▶になります。

◇ 早送り中に ▶/ Ⅱ ボタンを押すと

早送りを停止し、再生を開始します。

◀◀ボタンを押すと、早戻しします。

◇ 再生中に ◀◀ ボタンを押すと

10倍速で早戻しします。

再生中のファイルの先頭まで早戻しし、停止します。

早戻し中は、画面の動作表示が◀◀になります。

再生中のファイルがMP3ファイルの場合は、10倍速で再生（キュルキュル音）しながら早戻しします。WMA、RVFファイルの場合は無音です。

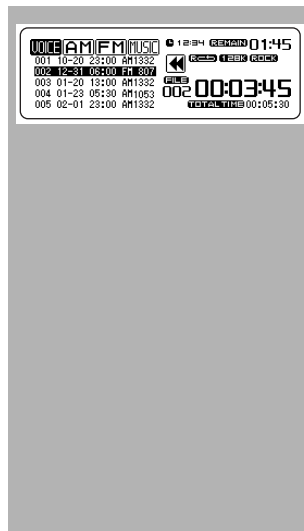
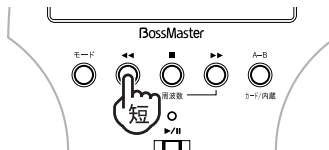
◇ 停止／一時停止中に ◀◀ ボタンを押すと

100倍速で早戻しします。

停止時はファイルの終端から先頭まで、一時停止中は一時停止位置から先頭まで早戻しし、停止します。

早戻し中は、画面の動作表示が◀◀になります。

◇ 早戻し中に ▶/ II ボタンを押すと

早戻しを停止し、再生を開始します。

再生機能を活用する

基本操作について
ラジオを聴く
録音する
再生する
消去する
設定を変更する
パソコンに接続する

ファイルの再生に関する便利な機能について説明します。この機能を活用して上手にお使いください。

再生速度を変える（速度調整機能）

ファイルの再生速度を変えることができる機能です。

1 再生中に［メニュー］ボタンを押します。

画面に「VSP」が表示され、速度調整機能が働きます。

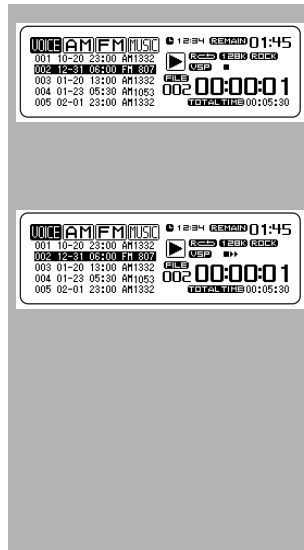
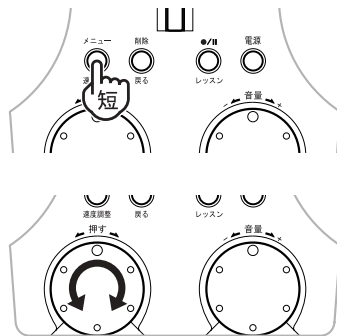
速度調整機能を解除するには、再度［メニュー］ボタンを押します。

［戻る］ボタンを押しても速度調整機能を解除することができます。

2 ジョグダイヤルを回して、再生速度を変えます。

左に回すと再生速度が遅く、右に回すと再生速度が早くなります。

画面の「VSP」表示で速度を確認することができます。
「VSP」表示と再生速度は、以下のとおりです。

◀◀◀■　：0.5倍速
◀◀■　：0.6倍速
◀■　：0.8倍速
■　：1.0倍速（標準速度）
■▶　：1.3倍速
■▶▶　：1.5倍速
■▶▶▶：2.0倍速

※ 速度調整機能の設定は、設定したファイルにのみ有効で次のファイルの再生時には標準速度に戻ります。

再生をくり返す（ファイルリピート機能）

ファイルリピートを設定することにより、リピート再生することができる機能です。
ファイルリピート設定には、6つの再生方法が用意されています。

各ファイルリピート設定の再生方法と画面に表示されるアイコンは以下のとおりです。

	ファイルリピート設定	再生方法	アイコン
①	全曲停止	すべてのファイルを番号順に再生して停止します。	
②	全曲リピート	すべてのファイルを番号順にリピート再生します。	
③	1曲停止	1ファイルのみを再生して停止します。	
④	1曲リピート	1ファイルのみをリピート再生します。	
⑤	ランダム	すべてのファイルを順不同で再生して停止します。	
⑥	ランダムリピート	すべてのファイルを順不同でリピート再生します。	

※ 選択しているモード（VOICE／MUSIC）内のファイルのみがリピート再生の対象になります。

ファイルリピート設定は、設定メニューの「6 ファイルリピート」で設定することができます。
設定方法については、『6 .ファイルリピート』（P.74）を参照してください。

再生機能を活用する（つづき）

区間再生をくり返す（ワンタッチリピート機能）

設定したリピート区間の再生をくり返すことができる機能です。
ワンタッチリピート機能には、2つの機能があります。

◇ A-B間リピート機能
ワンタッチリピート設定で「A-B間」を設定します。
再生中に［A-B］ボタンを押してリピート区間（A-B 間）を設定することにより、設定した区間（A-B 間）の再生をくり返すことができます。

◇ ワンタッチリピート機能
ワンタッチリピート設定で「リピート時間（秒数）」を設定します。
再生中に [A-B] ボタンを押した位置から設定した時間（秒数）分戻った位置からの再生をくり返すことができます。

ワンタッチリピート設定には、A-B間リピートと4つのリピート時間（秒数）が用意されています。
各ワンタッチリピート設定の再生方法と画面に表示されるアイコンは以下のとおりです。

	ワンタッチリピート設定	再生方法	アイコン
①	A-B間	再生中に［A-B］ボタンを押してリピート区間（A-B間）を設定すると、設定した区間の再生をくり返します。	A↔B
②	2秒	再生中に［A-B］ボタンを押した位置から2秒戻った位置からの再生をくり返します。	2←
③	4秒	再生中に［A-B］ボタンを押した位置から4秒戻った位置からの再生をくり返します。	4←
④	8秒	再生中に［A-B］ボタンを押した位置から8秒戻った位置からの再生をくり返します。	8←
⑤	16秒	再生中に［A-B］ボタンを押した位置から16秒戻った位置からの再生をくり返します。	16←

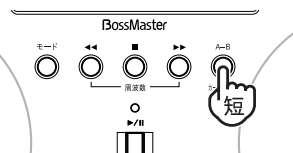
ワンタッチリピート設定は、設定メニューの「7 ワンタッチリピート」で設定することができます。
『7 .ワンタッチリピート』（P.75）を参照してください。

◇ A-B間リピート機能の操作方法は以下のとおりです。
ワンタッチリピート設定で「A-B間」を設定しておく必要があります。

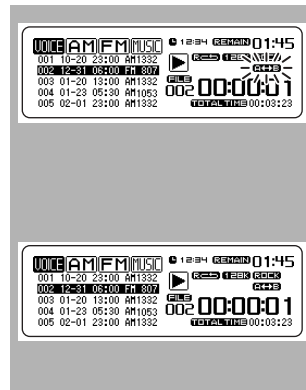
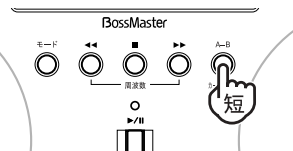
1 再生中に開始ポイントで［A-B］ボタンを押します。

リピート区間の開始ポイントAが設定されます。

画面のA-B間アイコンが点滅し、リピート区間設定中であることを表わします。

開始ポイントAを解除するには、［戻る］ボタンを押します。

2 終了ポイントで再度［A-B］ボタンを押します。

リピート区間の終了ポイントBが設定され、設定したA-B間の再生をくり返します。

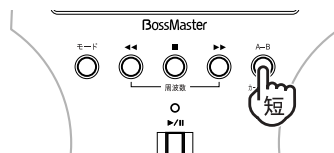
画面のA-B間アイコンは点滅を停止し、リピート区間再生中であることを表わします。

※ A-B間リピート再生を解除するには、リピート再生中に［A-B］ボタンまたは［戻る］ボタンを押します。
リピート再生が解除され通常の再生に戻ります。
また、リピート再生中に◀◀（早戻し）、▶▶（早送り）、■（停止）ボタンを押すと、A-B間リピート再生が解除され、各ボタンの機能が有効になります。▶/ ll（一時停止）ボタンを押すと、リピート再生を一時停止します。

再生機能を活用する（つづき）

◇ ワンタッチリピート機能の操作方法は以下のとおりです。
ワンタッチリピート設定で「2秒」「4秒」「8秒」「16秒」のいずれかを設定しておく必要があります。

再生中に［A-B］ボタンを押します。

［A-B］ボタンを押した位置から設定した時間（秒数）分戻った位置からの再生をくり返します。

画面には、ワンタッチリピートアイコンが表示されます。

※ ワンタッチリピート再生を解除するには、リピート再生中に［A-B］ボタンまたは［戻る］ボタンを押します。
リピート再生が解除され通常の再生に戻ります。
また、リピート再生中に◀◀（早戻し）、▶▶（早送り）、■（停止）ボタンを押すと、ワンタッチリピート再生が解除され、各ボタンの機能が有効になります。▶/II（一時停止）ボタンを押すと、リピート再生を一時停止します。

音質を選ぶ（イコライザ機能）

再生する曲のジャンルに合せて、最適な音質にすることができる機能です。
イコライザ機能には、5つの音質が用意されています。

各再生イコライザ設定の内容と画面に表示されるアイコンは以下のとおりです。

	再生イコライザ設定	内　　容	アイコン
①	OFF	標準再生	NOR
②	クラシック	ソフトな音質で、クラシックに最適です。	CLA
③	ライブ	臨場感のある音質で、ライブに最適です。	LIVE
④	ポップ	メリハリのある音質で、ポップスに最適です。	POP
⑤	ロック	パンチの効いた音質で、ロックに最適です。	ROCK
⑥	アッテネータ	標準再生で音量が20dB下がります。	ATT

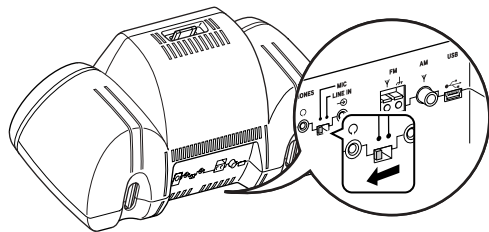
再生イコライザ設定は、設定メニューの「4 イコライザ」で設定することができます。
設定方法については、『4 .イコライザ』（P.71）を参照してください。

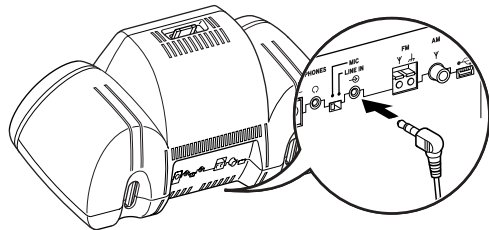
再生機能を活用する（つづき）

レッスン機能を利用する（レッスン機能）

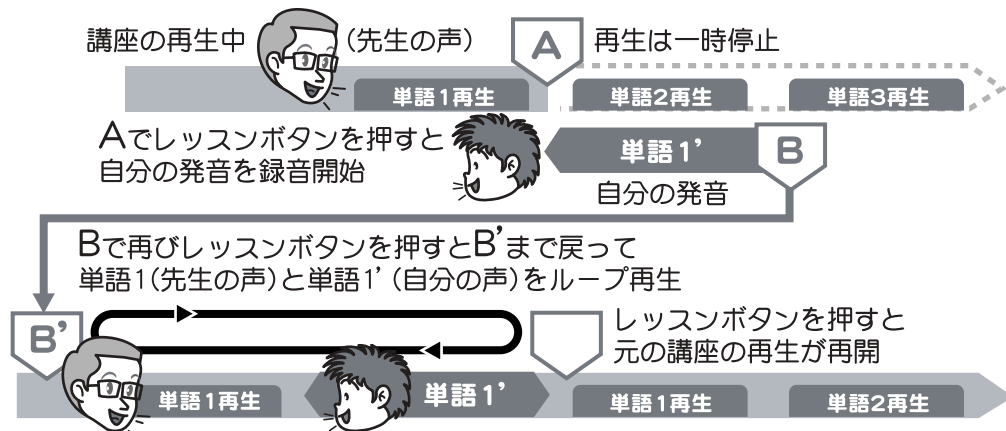
レッスン機能とは、例えばラジオから録音した英会話講座を聞きながら自分の発音を録音し、英会話講座の発音と聞き比べたいときに利用する機能です。
レッスン機能を利用する場合は、マイクロホンを接続しておく必要があります。

◇ マイクを接続する

1 本機の背面部にあるMIC／LINE IN切替スイッチをMIC側（左側）にします。

2 本機の背面部にあるMIC／LINE IN端子にマイクロホンを接続します。

※プラグが3.5mmタイプのマイクをご使用ください。

◇ レッスン機能を利用する

ここでは、レッスン機能の内容をよりわかりやすくするため、具体的な例をもとに説明します。

例）英会話講座のファイルを聞きながら自分の発音を録音し、英会話講座の先生の発音と自分の発音を聞き比べします。

再生機能を活用する（つづき）

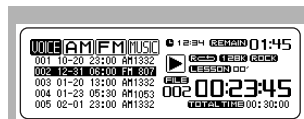
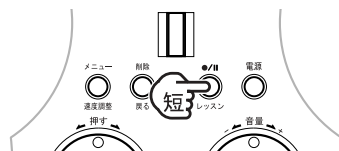
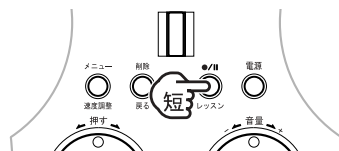
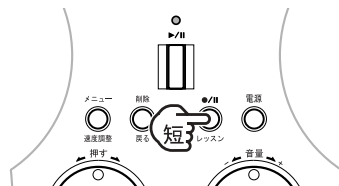
1 英会話講座ファイルの聞き比べしたい部分の再生が終わった時点で、[レッスン] ボタンを押して自分の発音を録音します。

動作ランプが橙色で点灯し、レッスン機能を開始します。画面には、レッスン録音の秒数が表示されます。
①英会話講座ファイルの再生が一時停止
②録音開始を示す動作ランプが赤色に点灯していることを確認
③マイクロホンから自分の発音を録音

2 マイクロホンからの録音が終了したら、再度 [レッスン] ボタンを押します。

例として、マイクロホンから7秒間録音した場合
①英会話講座ファイルの一時停止位置より７秒戻った位置から一時停止位置まで再生
②英会話講座ファイルが再度一時停止
③マイクロホンで録音された内容を再生（7秒間）
④①～③をくり返します。

3 レッスン機能を解除するには、再度 [レッスン] ボタンを押します。

レッスン機能が解除され、通常の再生に戻ります。

※ マイクロホンからの録音は最大30秒間です。マイクロホンからの録音が30秒経過しても [レッスン] ボタンが押されない場合は、自動的に録音を停止して [レッスン] ボタンを押したときと同様の処理を行います。

消去する

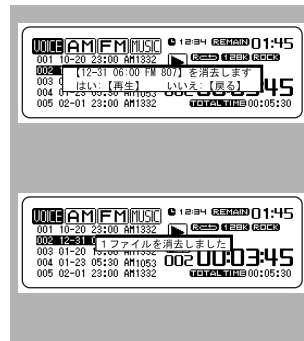
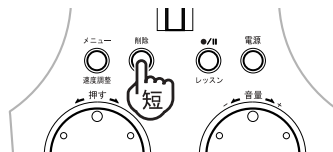
ファイルを消去する

不要なファイルを消去することにより、メモリの空容量を増やすことができます。
ファイルの消去は、ファイルの再生中または停止時に行います。

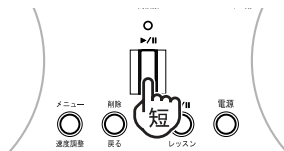
1 消去するファイルを再生します。

ファイルの再生については、『ファイルを再生する』（P.40）を参照してください。

2 ［削除］ボタンを押します。

消去確認メッセージが表示されます。

3 ▶/II ボタンを押します。

消去完了メッセージが表示され、ファイルが消去されます。

※消去をキャンセルする場合は、［戻る］ボタンを押します。

※ ファイルの停止時に消去する場合は、現在選択（ファイル番号とファイル情報が反転表示）されているファイルが対象になります。

※ ファイルを消去すると、消去したファイル以降のファイル番号がひとつづつ繰り上がります。

※ 消去したファイルを復元させることはできません。

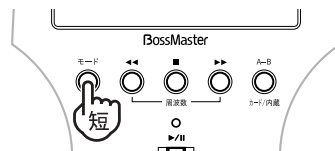
※ メモリカード内のファイルも同様に消去することができます。

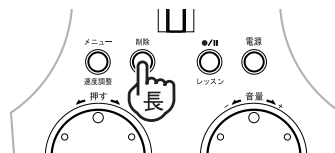
消去する（つづき）

モード内のファイルをすべて消去する

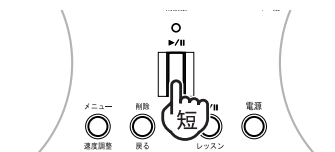
VOICEまたはMUSICモード内のファイルをすべて消去することができます。
モード内の全ファイル消去は、ファイルの再生中または停止時に行います。

1 [モード] ボタンを押して、消去するモードを選択します。

VOICE／MUSICモードを選択します。

2 [削除] ボタンを長押しします。

消去確認メッセージが表示されます。

3 ▶/ II ボタンを押します。

消去完了メッセージが表示され、ファイルが消去されます。

※消去をキャンセルする場合は、[戻る] ボタンを押します。

※ 消去したファイルを復元させることはできません。モード内のすべてのファイルが消去されますので、注意して操作してください。

※ メモリカード内のファイルも同様に消去することができます。

設定の変更のしかた

本機には、様々な設定項目が用意されています。使いかたに合わせて設定を変更してください。

設定の変更は、設定メニューで行います。ここでは、設定メニューで設定項目を選択した後の操作について説明しています。設定メニューで設定項目を選択するまでの操作については、『設定メニューで設定を変更する』（P.18）を参照してください。

※ 設定メニューのどの画面からでも［メニュー］ボタンを押すことにより、設定メニューを終了して元のモード画面に戻ることができます。

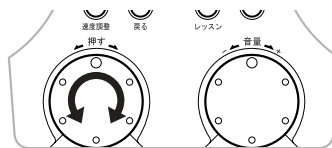
1.スリープタイマ

ラジオの受信中／ファイルの再生中に、電源が自動的に切れるまでの時間を設定します。

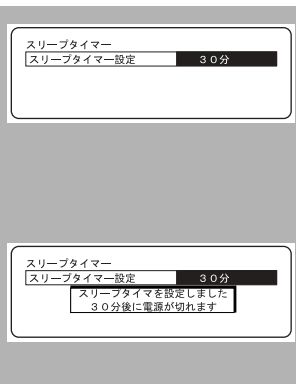
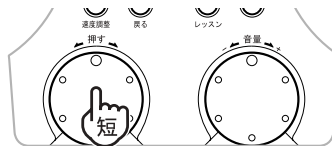
1 ジョグダイヤルを回して、設定時間を選択します。

OFF／30分／60分／90分／120分／150分／180分から選択します。

［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

※スリープタイマが設定されている場合は、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

2 ジョグダイヤルを押します。

選択した内容を設定します。

設定完了メッセージが表示され、設定が完了します。

設定の変更のしかた（つづき）

２.タイマ予約（予約録音／予約再生）

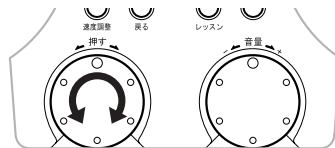
ラジオ受信／再生／録音のタイマ予約に関する内容を設定します。

※ タイマ予約をする前に、設定メニューの日付・時刻が設定されている必要があります。日付・時刻の設定については、『３.日付・時刻・地域』（P.64）を参照してください。

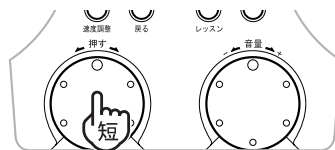
※ ラジオの録音をタイマ予約する場合は、プリセットリストに放送局が登録されている必要があります。
放送局が登録されていない場合は、設定メニューの地域を設定することにより、設定した地域で受信できる主なNHKおよび民放のAM放送局とFM放送局がプリセットリストに自動的に登録されます。地域の設定については、『３.日付・時刻・地域』（P.64）を参照してください。

1 ジョグダイヤルを回して、予約番号を選択します。

01～20から選択します。

［戻る］ボタンを押すと、設定メニューに戻ります。

2 ジョグダイヤルを押します。

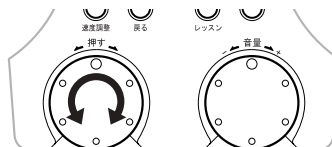
選択した予約番号のタイマ予約設定を開始します。

※すでに予約されている予約番号を選択した場合は、予約を変更または解除することができます。

3 ジョグダイヤルを回して、動作を選択します。

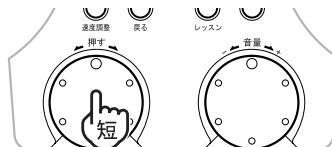
OFF／再生／録音から選択します。

- OFF ：予約の解除
- 再生：ファイルの再生／ラジオの受信を予約
- 録音：ラジオ／ライン（オーディオ機器やマイクなど）からの録音を予約

［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

タイマー予約番号	01		
動作	OFF	入力	MUSIC
ﾌｧｲﾙ	000	メモリ	内蔵メモリ
曜日	月 火 水 木 金 土 日		
開始時間	00：00 ー	終了時間	00：00

4 ジョグダイヤルを押します。

選択した内容を設定します。

※OFF を選択した場合はタイマ予約の消去となり、この時点で設定は完了します。
設定完了メッセージが表示され、元のモード画面に戻ります。

5 ジョグダイヤルを回して、入力を選択します。

AMラジオ／FMラジオ／VOICE／MUSICから選択します。

- AMラジオ ：AMラジオの再生／録音
- FMラジオ ：FMラジオの再生／録音
- VOICE ：VOICEモードのファイル再生
- MUSIC ：MUSIC モードのファイル再生／ライン（オーディオ機器やマイクなど）からの録音

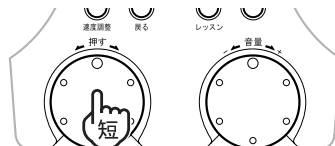
［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

※録音予約の場合は、VOICE モードを選択することはできません。

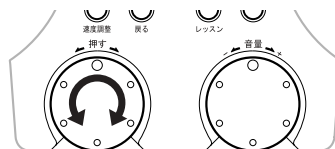
タイマー予約番号	01		
動作	再生	入力	MUSIC
ﾌｧｲﾙ	000	メモリ	内蔵メモリ
曜日	月 火 水 木 金 土 日		
開始時間	00：00 ー	終了時間	00：00

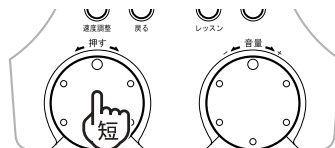
設定の変更のしかた（つづき）

6 ジョグダイヤルを押します。

選択した内容を設定します。

7 ジョグダイヤルを回して、チャンネル／ファイルを選択します。

◇ラジオの再生／録音予約の場合
再生／録音するラジオのプリセット番号を選択します。
・ チャンネル：プリセット番号の01～10から選択

◇ファイルの再生予約の場合
再生するファイル番号を選択します。
・ ファイル：ファイルリストの001～100から選択

［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

※録音予約の場合は、ファイル番号を選択することはできません。タイマ予約の実行時に録音されるファイル番号は自動的にナンバリングされます。

タイマー予約番号 01

動作	再生	入力	ＭＵＳＩＣ
ﾌｧｲﾙ	００１	メモリ	内蔵メモリ
曜日	月 火 水 木 金 土 日		
開始時間	００：００ ー 終了時間 ００：００		

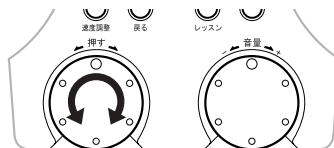
8 ジョグダイヤルを押します。

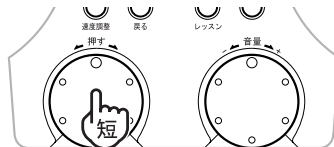
選択した内容を設定します。

9 ジョグダイヤルを回して、メモリを選択します。

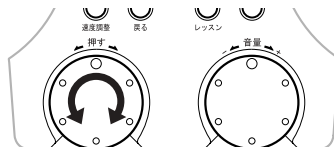
内蔵メモリ／SDカードから選択します。

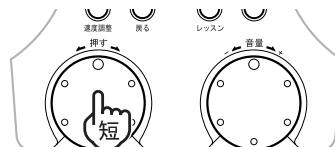
［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

※本機にメモリカードが装着されていないと、SDカードを選択することはできません。

10 ジョグダイヤルを押します。

選択したメモリを設定します。

11 ジョグダイヤルを回して、曜日を選択します。

- 月火水木金土日
- 月火水木金土
- 月火水木金
- 月火水木
- 月水金
- 月／火／水／木／金／土／日から選択します。

［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

タイマー予約番号 01

動作	再生	入力	MUSIC
ﾌｧｲﾙ	001	メモリ	内蔵メモリ
曜日	月 火 水 木 金 土 日		
開始時間	00：00 ー 終了時間 00：00		

設定の変更のしかた（つづき）

12 ジョグダイヤルを押します。

選択した内容を設定します。

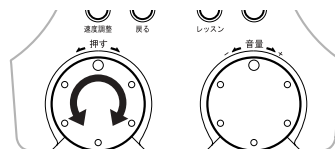
13 ジョグダイヤルを回して、開始時間を選択します。

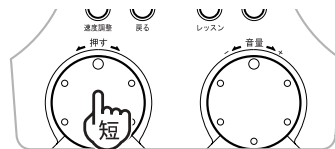
開始時間の「時」を選択します。

［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

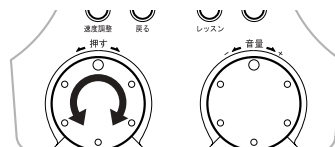
※時刻表示は24間表示です。

タイマー予約番号 01

動作	再生	入力	MUSIC
ﾌｧｲﾙ	001	メモリ	内蔵メモリ
曜日	月 火 水 木 金 土 日		
開始時間	00：00 ー 終了時間 00：00		

14 ジョグダイヤルを押します。

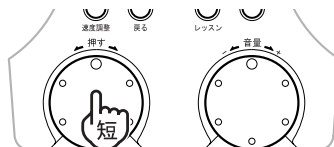
選択した内容を設定します。

15 ジョグダイヤルを回して、開始時間を選択します。

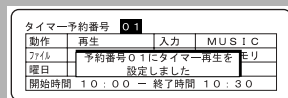
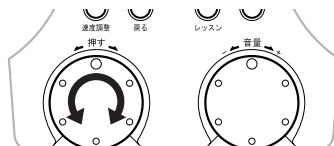
開始時間の「分」を選択します。

［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

タイマー予約番号 01

動作	再生	入力	MUSIC
ﾌｧｲﾙ	001	メモリ	内蔵メモリ
曜日	月 火 水 木 金 土 日		
開始時間	00：00 ー 終了時間 00：00		

16 ジョグダイヤルを押します。

選択した内容を設定します。

17 手順13～16と同様に終了時間を選択します。

終了時間の「分」を選択してジョグダイヤルを押すと、設定完了メッセージが表示され、設定が完了します。

※ 本機とパソコンが専用USBケーブルで接続されている間は、タイマ予約が無効になります。

※ 本機の動作中でもタイマ予約の開始時間になると、タイマ予約が優先されます。

※ スタンバイ状態でタイマ予約の開始時間になると自動的に電源が入り、終了時間になると自動的に電源が切れてスタンバイ状態になります。

※ タイマ予約の動作が終了しても、予約内容が消去されることはありません。
タイマ予約の動作設定を「OFF」にしない限り、予約内容は消去されません。

※ タイマ予約を正確に動作させるために、本機の時計を現在の日付／時刻に合せておいてください。
日付／時刻の設定については、『3.日付・時刻・地域』（P.64）を参照してください。

※ タイマ予約でSDカードを設定した場合は、SDカードを装着しておく必要があります。
タイマ予約の動作時にSDカードが装着されていない場合は、タイマ予約が無効になります。

※ タイマ録音中にメモリが不足した場合は、不足した時点でタイマ予約が無効になります。

設定の変更のしかた（つづき）

※ タイマ予約は重複しないように注意してください。
設定した時間が重複した場合は、先行の予約は有効ですが重複した後の予約は無効となります。
（例）予約番号01　６：００～６：３０
予約番号02　６：１５～７：００
の場合、予約番号01の録音は30分間正常に録音されますが、予約番号02の録音は全て無効となります。

※ タイマ予約が連続した場合、先の録音ファイルの最後の部分が次の録音準備のため約10秒間録音されません。
（例）予約番号01　６：００～６：１５
予約番号01　６：１５～６：３０
の場合、予約番号01の録音が6時14分50秒で終了します。

※ タイマ予約は、スタンバイ画面のタイマ予約リストで確認することができます。
以下のスタンバイ画面で、予約番号の横に表示されるPは再生予約、Rは録音予約を表わします。

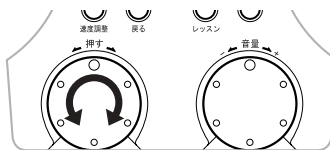
TIMER
01 R 06 11 16
02 P 07 12 17
03 08 13 18
04 09 14 19
05 10 15 20
2003
12月23日(火)
12:34 56

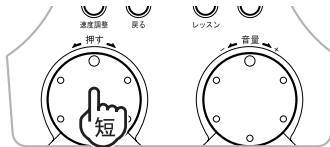
３.日付・時刻・地域

日付・時刻および地域（放送局プリセットのため）を設定します。

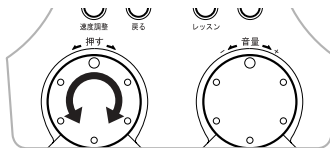
◇ 日付を設定します。

1 ジョグダイヤルを回して、日付を選択します。

［戻る］ボタンを押すと、設定メニューに戻ります。

2 ジョグダイヤルを押します。

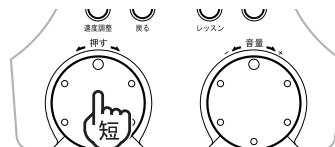
日付の設定を開始します。

3 ジョグダイヤルを回して、年を選択します。

2000～2099から選択します。

［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

日付・時刻・地域

日付	２００３年１２月２３日　火曜日
時刻	１２時３４分
地域	名古屋圏
	ＮＨＫ-ＦＭ周波数　８２．５ＭＨｚ

設定の変更のしかた（つづき）

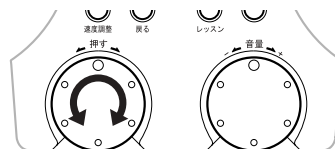
4 ジョグダイヤルを押します。

選択した内容を設定します。

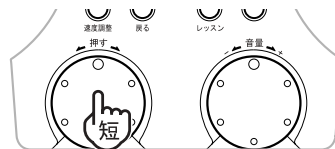
5 ジョグダイヤルを回して、月を選択します。

01～12から選択します。

［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

日付・時刻・地域

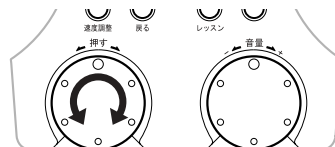
日付	２００３年１２月２３日　火曜日
時刻	１２時３４分
地域	名古屋圏 ＮＨＫ-ＦＭ周波数　８２．５ＭＨｚ

6 ジョグダイヤルを押します。

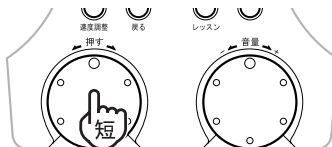
選択した内容を設定します。

7 ジョグダイヤルを回して、日を選択します。

01～28、29、30、31から選択します。

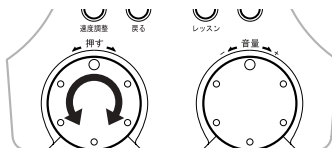
曜日は自動的に表示されます。

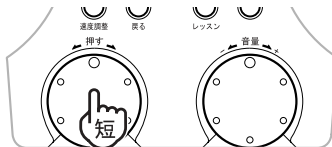
［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

※日の選択は、設定した月の月末日に対応しています。
　また、うるう年にも対応しています。

8 ジョグダイヤルを押します。

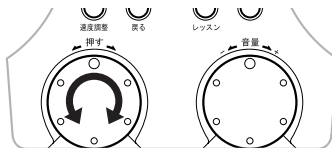
選択した内容を設定し、日付の設定が完了します。

◇ 時刻を設定します。

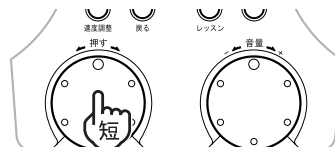
1 ジョグダイヤルを回して、時刻を選択します。

［戻る］ボタンを押すと、設定メニューに戻ります。

2 ジョグダイヤルを押します。

時刻の設定を開始します。

3 ジョグダイヤルを回して、時を選択します。

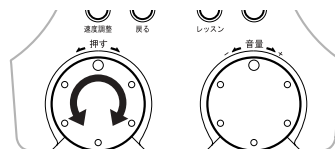
00～23から選択します。

［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

設定の変更のしかた（つづき）

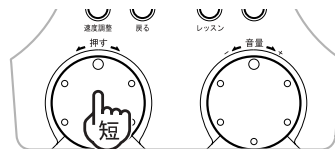
4 ジョグダイヤルを押します。

選択した内容を設定します。

5 ジョグダイヤルを回して、分を選択します。

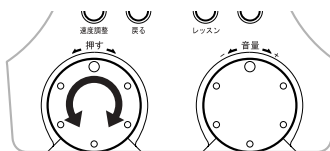
00～59から選択します。

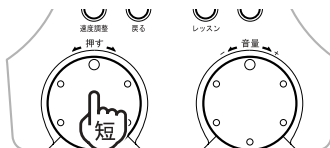
［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

6 ジョグダイヤルを押します。

選択した内容を設定し、時刻の設定が完了します。

※ジョグダイヤルを押した時点で、設定した時・分の00秒に時刻がセットされます。

◇ 地域を設定します。
地域を設定することにより、選択した地域で受信できる主なNHKおよび民放のAM放送局とFM放送局がプリセットリストに記憶されます。

1 ジョグダイヤルを回して、地域を選択します。

［戻る］ボタンを押すと、設定メニューに戻ります。

2 ジョグダイヤルを押します。

地域の設定を開始します。

3 ジョグダイヤルを回して、地域を選択します。

本機をご使用になる地域を選択します。

［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

※選択できる地域については、『地域選択リスト』（P.70）を参照してください。
ジョグダイヤルを回すと、地域選択リストの順に地域が表示されます。

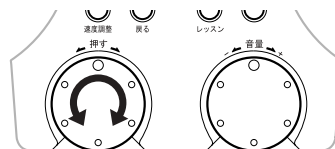
設定の変更のしかた（つづき）

4 ジョグダイヤルを押します。

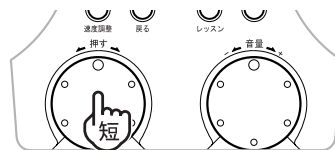
選択した内容を設定します。

5 ジョグダイヤルを回して、NHK-FMの周波数を選択します。

選択した地域によりNHK-FMの周波数が表示されています。本機をご使用になる地域で受信できるNHK-FMの周波数を選択します。

［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

6 ジョグダイヤルを押します。

選択した内容を設定します。

設定完了メッセージが表示され、日付・時刻・地域の設定が完了します。

日付・時刻・地域
日付　２００３年１２月２３日　火曜日
時刻　１
設定を保存しました
地域　名古屋圏
ＮＨＫ－ＦＭ周波数　８２．５ＭＨｚ

※ 本機には、時刻自動調整機能が付いています。時刻自動調整機能とは、NHK FM放送の時報を利用して時刻を自動的に補正する機能です。NHK-FM放送が受信できないと時刻自動調整機能が働きませんので、必ずNHK-FM放送の周波数を設定してください。
また、NHK-FM放送を良好な状態で受信する必要がありますので、必ず付属のFM用フィーダアンテナを接続してください。FM用フィーダアンテナの接続については、『FM用フィーダアンテナの接続』（P.21）を参照してください。

※ 地域選択リスト

1	札　幌	11	東京圏	21	大　津	31	徳　島	41	鹿児島
2	青　森	12	甲　府	22	奈　良	32	松　山	42	那　覇
3	秋　田	13	松　本	23	和歌山	33	高　知		
4	盛　岡	14	静　岡	24	大阪圏	34	福　岡		
5	山　形	15	名古屋圏	25	鳥　取	35	北九州		
6	仙　台	16	津	26	松　江	36	佐　賀		
7	福　島	17	新　潟	27	広　島	37	長　崎		
8	宇都宮	18	富　山	28	山　口	38	大　分		
9	水　戸	19	金　沢	29	岡　山	39	熊　本		
10	前　橋	20	福　井	30	高　松	40	宮　崎		

設定の変更のしかた（つづき）

4.イコライザ

再生時のイコライザ（音質）を設定します。

1 ジョグダイヤルを回して、イコライザを選択します。

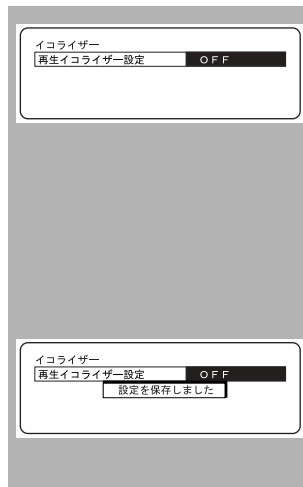
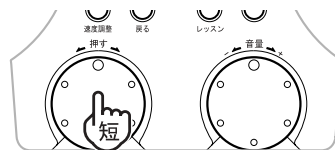
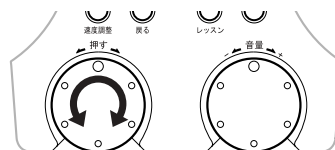
OFF ／クラシック／ライブ／ポップ／ロック／アッテネータから選択します。

- OFF　　　　：標準再生
- クラシック：ソフトな音質でクラシックに最適
- ライブ　　：臨場感のある音質でライブに最適
- ポップ　　：メリハリのある音質でポップスに最適
- ロック　　：パンチの効いた音質でロックに最適
- アッテネータ：標準再生で音量が20ｄB下がります

［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

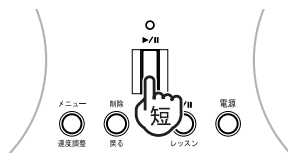
2 ジョグダイヤルを押します。

選択した内容を設定します。

設定完了メッセージが表示され、設定が完了します。

5.インデックスマーク

インデックスマークとは、ファイルの任意の位置にインデックスマークを付けることにより、簡単な操作でインデックスマークを付けた位置からの再生を行うことができる機能です。インデックスマークは3つまで付けることができます。

◇ インデックスマークの設定

1 ファイルの再生中に、インデックスマークを付けたい位置で▶/ II ボタンを押して一時停止させます。

2 設定メニューの「5 インデックスマーク」を選択します。

設定メニューの操作については、『設定メニューで設定を変更する』(P.18)を参照してください。

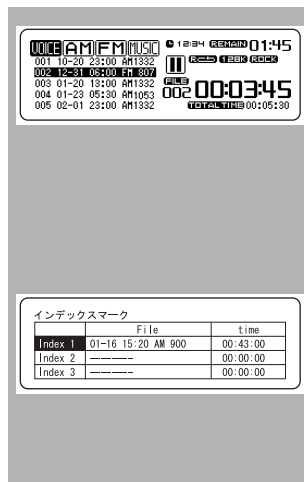
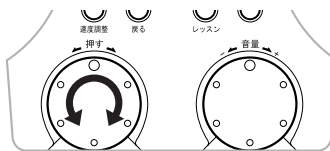
3 ジョグダイヤルを回して、設定するインデックスを選択します。

Index1～3から選択します。

[戻る] ボタンを押すと、前項目に戻ります。

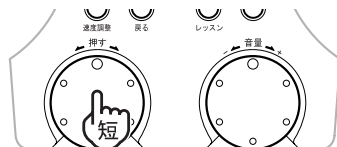
※すでに設定されているインデックスを選択した場合は上書きされます。

インデックスマーク

	File	time
Index 1	01-16 15:20 AM 900	00:43:00
Index 2	--------	00:00:00
Index 3	--------	00:00:00

設定の変更のしかた（つづき）

4 ジョグダイヤルを押します。

現在一時停止している位置にインデックスマークが付き、設定が完了します。

設定が完了すると、一時停止が解除され通常の再生に戻ります。

◇ インデックスマークを利用した再生

1 設定メニューの「5 インデックスマーク」を選択します。

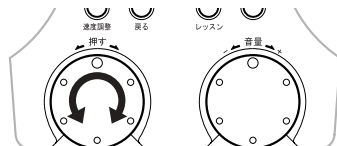
設定メニューの操作については、『設定メニューで設定を変更する』（P.18）を参照してください。

2 ジョグダイヤルを回して、再生するインデックスを選択します。

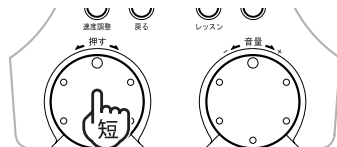
Index1～3から選択します。

［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

インデックスマーク

	File	time
Index 1	01-16 15:20 AM 900	00:43:00
Index 2	--------	00:00:00
Index 3	--------	00:00:00

3 ジョグダイヤルを押します。

インデックスマークの付いている位置からの再生を開始します。

インデックスマークによる再生を開始した後は、通常の再生に戻ります。

※ インデックスマークの設定時と再生時で、モード（VOICE／MUSIC）やメモリ（内蔵メモリ／メモリカード）が異なる場合は再生することができません。

６.ファイルリピート

くり返し再生の方法を設定します。

1 ジョグダイヤルを回して、リピート方法を選択します。

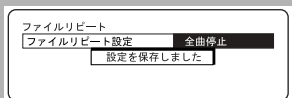
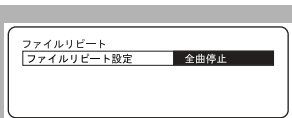
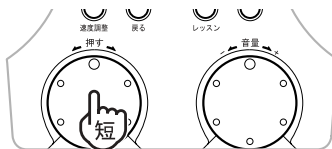
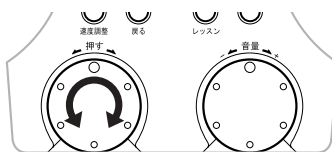
全曲停止／全曲リピート／１曲停止／１曲リピート／ランダム／ランダムリピートから選択します。

- 全曲停止：全ファイルを番号順に再生後、停止
- 全曲リピート：全ファイルを番号順にリピート再生
- 1曲停止：1ファイルを再生後、停止
- 1曲リピート：1ファイルをリピート再生
- ランダム：全ファイルを順不同で再生後、停止
- ランダムリピート：全ファイルを順不同でリピート再生

［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

2 ジョグダイヤルを押します。

選択した内容を設定します。

設定完了メッセージが表示され、設定が完了します。

設定の変更のしかた（つづき）

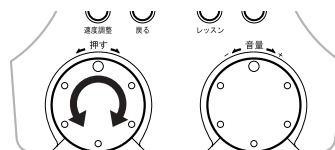
7.ワンタッチリピート

A-B間リピート／ワンタッチリピート（リピート時間）を設定します。

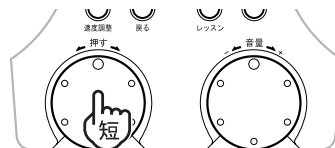
1 ジョグダイヤルを回して、リピート方法を選択します。

A-B間／2秒／4秒／8秒／16秒から選択します。

- A-B間 ：再生中に［A-B］ボタンでリピート区間（A-B 間）を設定し、設定した区間のくり返し再生
- 2秒 ：再生中に［A-B］ボタンを押した位置から2秒戻った位置からくり返し再生
- 4秒 ：再生中に［A-B］ボタンを押した位置から4秒戻った位置からくり返し再生
- 8秒 ：再生中に［A-B］ボタンを押した位置から8秒戻った位置からくり返し再生
- 16秒 ：再生中に［A-B］ボタンを押した位置から16秒戻った位置からくり返し再生

［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

2 ジョグダイヤルを押します。

選択した内容を設定します。

設定完了メッセージが表示され、設定が完了します。

８.録音ビットレート

AM録音時／FM録音時／ライン録音時のビットレート（音質）を設定します。

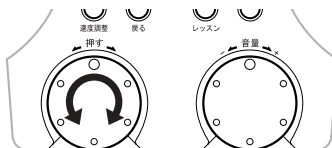
※ AM録音時／FM録音時／ライン録音時ごとに標準的なビットレートが初期設定されていますので、通常は変更する必要はありません。

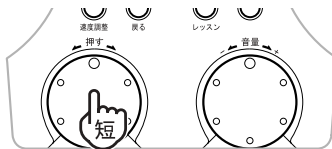
1 ジョグダイヤルを回して、AM録音時／FM録音時／ライン録音時を選択します。

AM録音時／FM録音時／ライン録音時ともに操作方法は同様です。

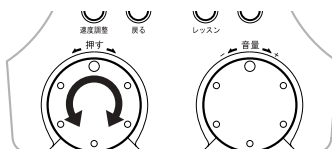
［戻る］ボタンを押すと、設定メニューに戻ります。

録音ビットレート

ＡＭ録音時	16Kbps / 11KHz MONO
ＦＭ録音時	64Kbps / 22.05KHz STEREO
ライン録音時	128Kbps / 44.1KHz STEREO

2 ジョグダイヤルを押します。

録音ビットレートの設定を開始します。

3 ジョグダイヤルを回して、ビットレートを選択します。

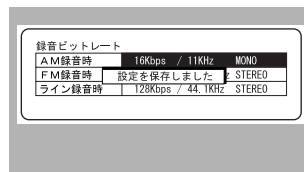
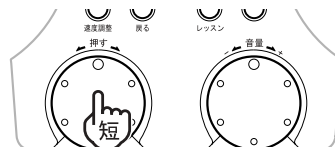
［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

※設定できるビットレートは、AM録音時／FM録音時／ライン録音時ごとに異なります。
設定できるビットレートと初期設定値については、次ページを参照してください。

録音ビットレート

ＡＭ録音時	16Kbps / 11KHz MONO
ＦＭ録音時	64Kbps / 22.05KHz STEREO
ライン録音時	128Kbps / 44.1KHz STEREO

設定の変更のしかた（つづき）

4 ジョグダイヤルを押します。

選択した内容を設定します。
設定完了メッセージが表示され、設定が完了します。

※ 録音ビットレートは数値が高いほど高音質になります。

※ AM放送の録音ビットレートを設定する場合
AM 放送の電波は中波であるため高音質ではありません。AM 放送を高ビットレート で録音しても、高ビットレート であることを活かすことができません。また、高ビットレートの録音であるほどメモリを多く使用しますのでメモリを無駄に使ってしまいます。

※ 設定できるビットレートと初期設定値（■：初期設定値）

AM 録音時	16Kbps 11KHz	32Kbps 16KHz	64Kbps 22.05KHz	–	–	–
FM 録音時	16Kbps 11KHz	32Kbp 22.05KHz	64Kbps 22.05KHz	96Kbps 44.1KHz	128Kbps 44.1KHz	–
ライン録音時	32Kbps 11KHz	64Kbps 22.05KHz	96Kbps 44.1KHz	128Kbps 44.1KHz	160Kbps 44.1KHz	192Kbps 44.1KHz

レッスン機能でマイクロホンから録音する場合のビットレートは、32Kbps/16KHzに固定されています。

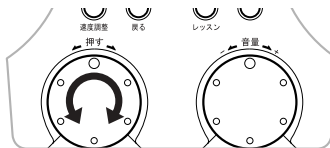
９.メモリ

内蔵メモリからメモリカードへのファイルコピー／メモリフォーマット／メモリチェックを行なうことができます。

◇ メモリコピー
　内蔵メモリの内容をメモリカードにコピーすることができます。

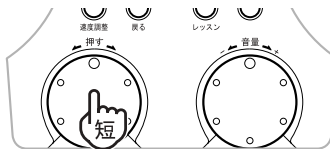
1 ジョグダイヤルを回して、メモリコピーを選択します。

［戻る］ボタンを押すと、設定メニューに戻ります。

メモリ

メモリコピー	内蔵メモリ→ＳＤカード
フォーマット	内蔵メモリ
メモリチェック	内蔵メモリ

2 ジョグダイヤルを押します。

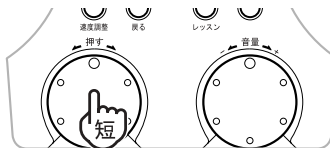
メモリカードが装着されていることを確認してください。

メモリ

メモリコピー	内蔵メモリ→ＳＤカード
フォーマット	内蔵メモリ
メモリチェック	内蔵メモリ

3 再度ジョグダイヤルを押します。

メモリコピーの確認メッセージが表示されます。

メモリ

メモリコピー　内蔵メモリ→ＳＤカード

内蔵メモリからＳＤカードにコピーします
はい：【再生】　いいえ：【戻る】

基本操作について
ラジオを聴く
録音する
再生する
消去する
設定を変更する
パソコンに接続する

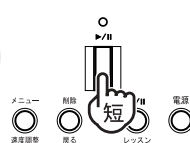
設定の変更のしかた（つづき）

4 ▶/ II ボタンを押します。

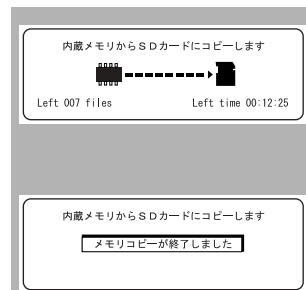
内蔵メモリからメモリカードへのコピーを開始します。

※コピーをキャンセルする場合は、[戻る] ボタンを押します。

内蔵メモリからＳＤカードにコピーします

Left 007 files　Left time 00:12:25

5 コピーが終了すると、メッセージが表示されます。

内蔵メモリからＳＤカードにコピーします

メモリコピーが終了しました

※ 内蔵メモリのファイルがメモリカードに存在している場合、メモリカード側のファイルを有効としますのでコピーされません。メモリカードに存在しないファイルのみが内蔵メモリからコピーされます。
また、メモリカードに記憶されているファイルはコピーによって消去されることはありません。

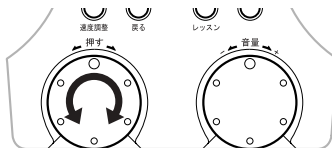
◇ フォーマット

内蔵メモリ／メモリカードをフォーマット（初期化）することができます。

正常に録音／再生できない、メモリカードが認識できないなどのトラブルが発生した場合は、まずメモリチェックを実施してください。メモリチェックを実施してもトラブルが解消されなかった場合にフォーマットを実施してください。

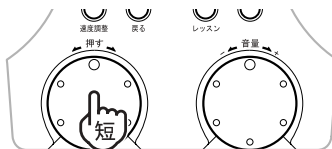
1 ジョグダイヤルを回して、フォーマットを選択します。

［戻る］ボタンを押すと、設定メニューに戻ります。

メモリ

メモリコピー	内蔵メモリ→ＳＤカード
フォーマット	内蔵メモリ
メモリチェック	内蔵メモリ

2 ジョグダイヤルを押します。

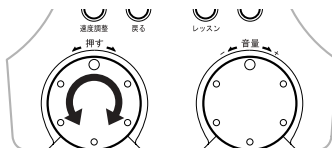
メモリカードをフォーマットする場合は、メモリカードが装着されていることを確認してください。

メモリ

メモリコピー	内蔵メモリ→ＳＤカード
フォーマット	内蔵メモリ
メモリチェック	内蔵メモリ

3 ジョグダイヤルを回して、フォーマットするメモリを選択します。

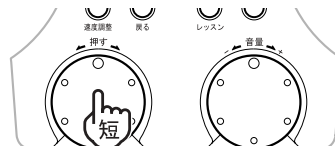
内蔵メモリ／SDメモリを選択します。

［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

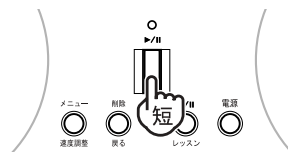
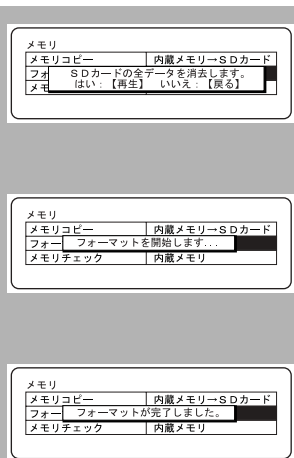
メモリ

メモリコピー	内蔵メモリ→ＳＤカード
フォーマット	ＳＤカード
メモリチェック	内蔵メモリ

設定の変更のしかた（つづき）

4 ジョグダイヤルを押します。

フォーマットの確認メッセージが表示されます。

5 ▶/ II ボタンを押します。

選択したメモリのフォーマットを開始します。

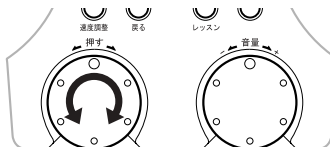
※フォーマットをキャンセルする場合は、[戻る] ボタンを押します。

6 フォーマットが完了すると、フォーマット完了メッセージが表示されます。

※ 内蔵メモリ／メモリカード内のすべてのファイルが消去されますので、注意して操作してください。

◇ メモリチェック
内蔵メモリ／メモリカードのメモリをチェックすることができます。

正常に録音／再生できない、メモリカードが認識できないなどのトラブルが発生した場合にメモリチェックを実施してください。メモリチェックを実施してもトラブルが解消されなかった場合は、フォーマットを実施してください。

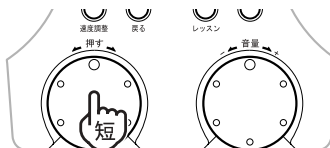
1 ジョグダイヤルを回して、メモリチェックを選択します。

［戻る］ボタンを押すと、設定メニューに戻ります。

メモリ

メモリコピー	内蔵メモリ→ＳＤカード
フォーマット	内蔵メモリ
メモリチェック	内蔵メモリ

2 ジョグダイヤルを押します。

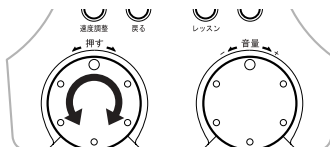
メモリカードをチェックする場合は、メモリカードが装着されていることを確認してください。

メモリ

メモリコピー	内蔵メモリ→ＳＤカード
フォーマット	内蔵メモリ
メモリチェック	内蔵メモリ

3 ジョグダイヤルを回して、チェックするメモリを選択します。

内蔵メモリ／SDメモリを選択します。

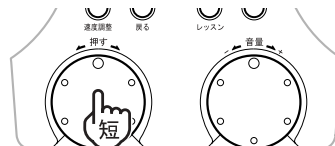
［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

メモリ

メモリコピー	内蔵メモリ→ＳＤカード
フォーマット	内蔵メモリ
メモリチェック	ＳＤカード

基本操作について
ラジオを聴く
録音する
再生する
消去する
設定を変更する
パソコンに接続する

設定の変更のしかた（つづき）

4 ジョグダイヤルを押します。

メッセージが表示され、メモリチェックを開始します。

5 メモリチェックが完了すると、チェック完了メッセージが表示されます。

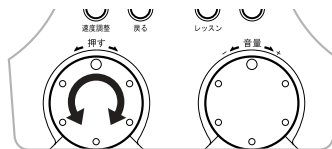
基本操作について
ラジオを聴く
録音する
再生する
消去する
設定を変更する
パソコンに接続する

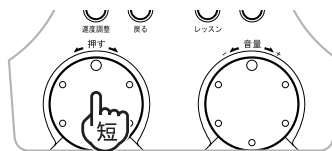
１０.ユーティリティ

液晶画面のコントラスト（淡／濃）およびスタンバイ画面の照明（明／暗）を設定します。
また、本機のバージョン情報を確認することもできます。

◇ コントラストを設定します。

1 **ジョグダイヤルを回して、コントラストの調整を選択します。**

［戻る］ボタンを押すと、設定メニューに戻ります。

2 **ジョグダイヤルを押します。**

コントラストの設定を開始します。

設定の変更のしかた（つづき）

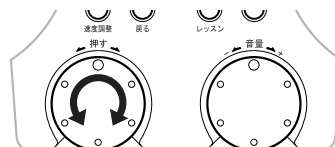
3 ジョグダイヤルを回して、コントラストを調整します。

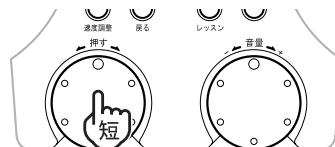
◇ 右に回すと濃くなります。

◇ 左に回すと淡くなります。

画面には、コントラストのレベルがバー表示されます。

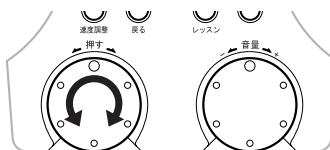
［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

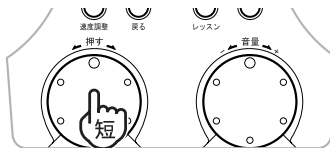
※コントラストの調整レベルに応じて、画面のコントラストも変化しますので、画面を見ながら適切なコントラストに調整することができます。

4 ジョグダイヤルを押します。

調整した内容を設定します。

設定完了メッセージが表示され、設定が完了します。

● スタンバイ画面の照明を設定します。

1 **ジョグダイヤルを回して、スタンバイ時の照明を選択します。**

［戻る］ボタンを押すと、設定メニューに戻ります。

2 **ジョグダイヤルを押します。**

照明の設定を開始します。

3 **ジョグダイヤルを回して、照明を調整します。**

◇ 右に回すと明るくなります。

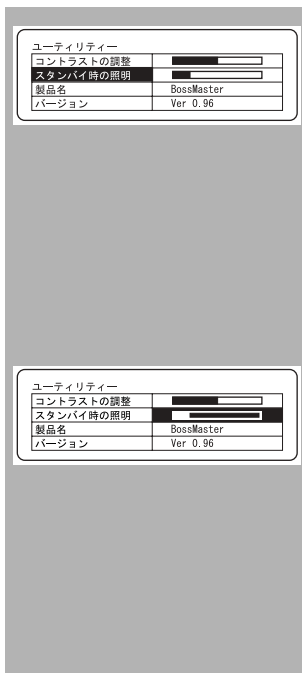
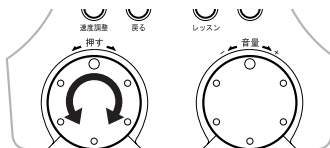
◇ 左に回すと暗くなります。

画面には、照明のレベルがバー表示されます。

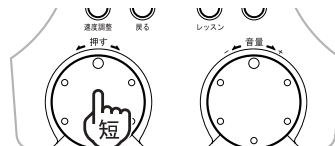
［戻る］ボタンを押すと、前項目に戻ります。

※照明の調整レベルに応じて、画面の照明も変化しますので、画面を見ながら適切な明るさに調整することができます。

※照明のレベルを最低にすると、バックライトが消灯した状態になります。

ユーティリティー
コントラストの調整
スタンバイ時の照明
製品名
BossMaster
バージョン
Ver 0.96

設定の変更のしかた（つづき）

4 ジョグダイヤルを押します。

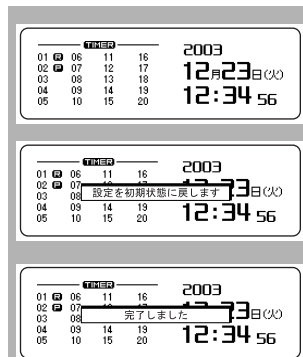
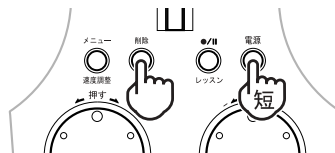
調整した内容を設定します。
設定完了メッセージが表示され、設定が完了します。

設定を初期化するには

設定メニューの各設定項目を初期化（工場出荷時設定に戻す）することができます。

1 本機がスタンバイ状態であることを確認します。

スタンバイ状態でない場合は、電源を切ってスタンバイ状態にしてください。

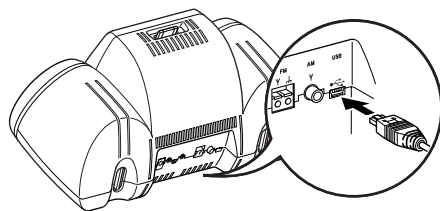
2 ［削除］ボタンを押したまま、［電源］ボタンを押します。

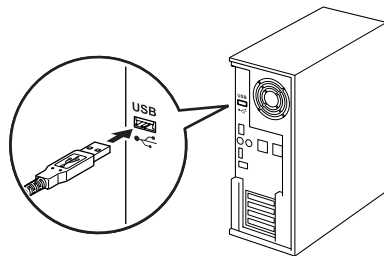
メッセージが表示され、各設定項目が初期化されます。

※ 設定の初期化を行うと、タイマ予約の設定内容もすべて消去されてしまいますので注意してください。
※ 設定の初期化を行うと、各設定項目は初期化されますが日付と時刻の設定は現在の内容を保持しています。

本機とパソコンを接続する

本機とパソコンを付属の専用 USB ケーブルで接続すると、本機を USB デバイスとして使用することができます。
パソコンへの接続方法は、以下のとおりです。

1 本機の電源を切ってスタンバイ状態にします。

2 本機裏面の USB 端子に付属の専用 USB ケーブルを接続します。

3 パソコンの USB コネクターに付属の専用 USB ケーブルを接続します。

パソコンに本機を接続すると、パソコンが本機を認識します。

※ USB ケーブルを取り外す場合は、パソコンの画面下に表示されているタスクバーの「ハードウェアの安全な取り外し」インジケータをクリックしてUSBデバイスの取り外し処理を行ってから取りはずしてください。

※ Windows Me・2000・XPでは、Windowsの標準USBドライバで本機をディスクドライブとして認識させることができます。ただし、Windows 98では別途USBドライバが必要となります。

Windows 98のUSBドライバは、当社ホームページ **http://www.sun-denshi.co.jp** のVoiceLabダウンロードページ内BossMaster Windows 98用USBドライバからダウンロードすることができます。

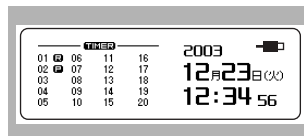
ダウンロードできない場合は、当社サービスセンターにお申し込みいただければ無償にてお送り致します。

本機とパソコンを接続する（つづき）

パソコンで操作する

本機はパソコン上でUSBディスクとして使用することができます。（マスストレージ）
通常のパソコン操作と同様に本機のファイルやフォルダを取り扱うことができます。

本機をパソコンに接続すると

画面右上にUSB接続マークが表示され、接続中であることを示します。

パソコンから本機へのダウンロード

パソコンから本機へファイルをダウンロードする場合は、通常のファイルコピーの操作と同様にパソコンのファイルやフォルダを本機へドラッグ＆ドロップしてください。

※フォルダをダウンロードした場合、本機では1階層目のフォルダ内に存在するファイルのみを認識することができます。

本機からパソコンへのアップロード

本機からパソコンへファイルをアップロードする場合は、通常のファイルコピーの操作と同様に本機のファイルやフォルダをパソコンへドラッグ＆ドロップしてください。

※ ダウンロード／アップロード中は、絶対に専用USBケーブルを外さないでください。本機のメモリに録音されている内容が破損する恐れがあります。

メモリカードについて

使用できるメモリカード

本機で使用できるメモリカードはSDメモリカードで、他のメモリカード（コンパクトフラッシュ、メモリスティック、スマートメディアなど）は使用できません。

本機では、最大512MBまでのメモリカードを使用することできます。

メモリカードの種類には、32MB／64MB／128MB／256MB／512MBなどがあります。
用途に合せてお選びいただき、家電量販店などでお買い求めください。

※ ラジオをメモリカードに録音する場合、ラジオの受信状況が悪いと本機のノイズが録音されてしまうことがあります。

※ メモリカードの取り扱いは、ご使用になるメモリカードの取扱説明書を参照してください。

※ メモリカードの装着／取り外しは、メモリカードへの録音中には行なわないでください。

録音時間について

AMラジオを標準ビットレート（16Kbps/11KHz）で録音すると、内蔵メモリ（128MB）で約17時間、512MBのメモリカードを使用すると約70時間の録音が可能です。

メモリカードへのコピー

内蔵メモリからメモリカードへファイルをコピーすることができます。

メモリカードへのコピーについては、『9．メモリ』（P.78）を参照してください。

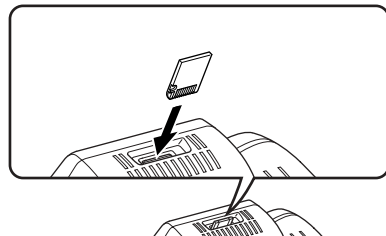
メモリカードについて（つづき）

メモリカードを装着する

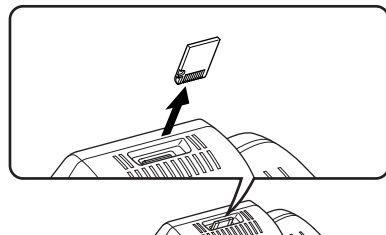
本機の上面にあるメモリカード挿入口に、メモリカードを挿入します。

※メモリカードのラベル面を本機の正面側にして挿入してください。

※カチッと音がするまで挿入してください。

※入りにくい場合は無理に挿入せず、メモリカードの向きを確認してください。

メモリカードを取り外す

メモリカードを指で押しこむと、カチッと音がしてカードが半分ほど出てきます。この状態でカードを引き抜いてください。

※メモリカードが挿入されている状態で無理に引き抜かないでください。
必ず指で押しこんでから引き抜いてください。

※ 他の機器で使用していたメモリカードは、フォーマット方式の違いにより使えない場合があります。

※ パソコンでメモリカードをフォーマットする場合は、FATでフォーマットしてください。
FAT32でフォーマットしたメモリカードは、本機で使用することはできません。

便利な使いかた

不要なファイルを消してメモリ節約

本機は 128MB の内蔵メモリを標準搭載しています。
メモリを節約するには、古いファイルや不要なファイルをこまめに消去することが必要です。それでもメモリの空き容量が少なくなった場合はファイルをパソコンにコピーしてから消去する、メモリカードを購入するなどで対処してください。

メモリカードによる便利な使い方

《用途に合わせて使い分ける》
学習教材の録音用、音楽用など用途に合わせて使い分けたり、音楽のジャンルごとに使い分けたりすると便利にお使いいただけます。

お手入れの方法

普段のお手入れはやわらかい布で汚れを軽くふき取る程度で十分です。汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を布に含ませ、良くしぼってふき取り、洗剤が残らないように新しい布でもう一度仕上げてください。
ベンジンやシンナーなどは、変質、変色の原因になりますので使用しないでください。

故障かなと思ったら

録音したのに再生ができない

何らかの原因で正常に録音／再生できない場合は、メモリのチェックを行ってください。それでも正常に録音／再生できない場合は、メモリのフォーマット（初期化）を行ってください。（『9．メモリ』P.78 参照）

メモリカード認識できない

何らかの原因でメモリカードが認識できない場合は、メモリのチェックを行ってください。それでもメモリカードが認識できない場合は、メモリのフォーマット（初期化）を行ってください。（『9．メモリ』P.78 参照）

画面表示や動作が異常

何らかの原因で画面表示や動作に異常があった場合は、一度 AC アダプタを外してください。その後、AC アダプタを接続して電源を入れ直してください。

時計が初期状態に戻る

AC アダプタが接続されていないと本機に電源が供給されず、時計の設定が保持されなくなります。
（AC アダプタが接続されていなくても、半日程度は保持されます）

タイマ予約の設定ができない

時刻が設定されていないと、タイマ予約の設定ができません。時刻の設定を先に行ってください。（『3．日付・時刻・地域』P.64 参照）

WMA ファイルが再生できない

Media Player のバージョンが古いと再生できませんので、現行バージョンに更新してお使いください。また、Media Player のツールーオプションにある音楽の録音タブで、録音設定の形式は“Windows Media オーディオ”を選択し、「保護された音楽の録音」のチェックを外して録音してください。

設定した時刻にタイマ予約が起動しない

時刻の設定が正しいか確認してください。
また、AC アダプタが接続されていないと本機に電源が供給されず、時計の設定が保持されなくなります。（『3．日付・時刻・地域』P.64 参照）
予約の設定が正しいか確認してください。（『2．タイマ予約（予約録音／予約再生）』P.57 参照）

Q&A 集

Question	Answer
メモリの容量は？	128M バイトのメモリを内蔵しています。
音楽は何分くらい録音できますか？	AM ラジオを推奨のビットレートで録音すると、内蔵メモリで約 17 時間です。
ビットレートって何ですか？	音をデジタル録音する時のデータ密度を表した言葉です。単位は bps で 16kbps、128kbps と表示され、数値が大きいほど高音質になりますが、同じメモリ容量に録音できる時間は少なくなります。
パソコンの対応 OS は何ですか？	Windows 98 ／ 98SE ／ Me ／ 2000 ／ XP です。 ただし、Windows 98/98SE はホームページから USB ドライバのダウンロードが必要です。
メモリカードは何メガまで対応できますか？	最大 512M バイトまで対応します。
再生速度を変えられますか？	早聞きしたりスローで聞くことができます。音程も変わらず聞けるので大変便利です。 スロー再生：0.5 倍速、0.6 倍速、0.8 倍速 早聞再生：1.3 倍速、 1.5 倍速、 2 倍速
ラジオのアンテナは付けなければいけないの？	はい。FM ／ AM ラジオともに付属のアンテナを接続しないと放送を受信することはできません。
電源が切れてから設定は何時間くらい保持されますか？	AC アダプターを抜いてしまうと約半日間で時計の設定が消えてしまいます。 電源を切っても、AC アダプターは接続したままにしてください。
語学 CD をボスマスターに録音するには？	本機と CD ラジカセなどを付属のオーディオケーブルで接続すれば録音することができます。

Q&A 集（つづき）

Question	Answer
AM ラジオがうまく受信できません。どうしたら良くなるか、良い方法を教えてください。	アンテナをできるだけ窓の近くに設置してみてください。パソコンやテレビなどの電化製品からできるだけ離れた位置でアンテナの角度を変えてみて、最も良好に受信できる位置を探してください。
テレビの 1 ～ 3ch は受信できますか？	FM モードで受信できます。 下記の周波数にお合わせください。 CH1：95.7MHz CH2：101.7MHz CH3：107.7MHz
MP3 に対応できるビットレートは？	16Kbps ～ 320Kbps です。 （WMA は 16Kbps ～ 192Kbps）
時刻自動補正機能とはなんですか？	FM ラジオの時報を検知して内蔵時計の時刻秒補正を自動で行う機能です。
録音レベルは変えられますか？	背面のスイッチで、LINE ／ MIC の 2 段階に切り換えることができます。

NHK 第 2 放送局周波数一覧表

単位：kHz

北海道		大船渡	1359	小諸	1539	豊橋	1359	呉	1521	福岡	1017
札幌	747	久慈	1539	上田	1602	尾鷲	1539	三次	1035	長崎	1377
函館	1467	仙台	1089	松本	1512	熊野	1602	東城	1602	佐世保	1512
江差	1359	気仙沼	1539	飯田	1476	近畿地方		福山	1602	熊本	873
旭川	1602	秋田	774	岡谷諏訪	1359	舞鶴	1602	福山木之庄	1467	人吉	1602
名寄	1125	横手	1602	駒ヶ根	1512	福知山	1359	庄原	1359	大分	1467
留萌	1359	大館	1359	木曽福島	1602	大阪	828	山口	1377	佐伯	1521
稚内	1467	花輪	1521	伊那	1539	豊岡	1539	萩	1125	宮崎	1467
遠別	1602	山形	1521	東海北陸地方		新宮	1359	下関	1359	延岡	1602
室蘭	1125	新庄	1539	富山	1035	田辺	1602	四国地方		都城	1359
浦河	1602	米沢	1359	金沢	1386	古座	1602	高松	1035	小林	1539
釧路	1152	鶴岡	1035	輪島	1359	中国地方		松山	1512	日南	1602
中標津	1539	福島	1602	七尾	1467	鳥取	1125	今治	1476	高千穂	1359
根室	1359	郡山	1512	福井	1521	倉吉	1359	新居浜	1035	串間	1512
帯広	1125	会津若松	1539	敦賀	1512	米子	1521	八幡浜	1035	鹿児島	1386
北見	702	いわき	1539	小浜	1359	松江	1593	宇和島	1602	名瀬	1602
遠軽	1539	関東甲信越地方		勝山	1359	益田	1539	大洲	1476	阿久根	1467
東北地方		東京	693	中津川	1359	浜田	1359	城辺	1539	徳之島	1539
青森	1521	新潟	1593	高山	1125	岡山	1386	高知	1152	那覇	1125
弘前	1467	高田	1359	萩原	1602	津山	1152	中村	1521	平良	1602
八戸	1377	津南	1539	静岡	639	新見	1125	大正	1035	石垣	1521
盛岡	1386	甲府	1602	浜松	1521	広島	702	九州地方			
釜石	1602	長野	1467	名古屋	909	呉	1521	北九州	1602		

仕様

本体総合	
外形寸法	198（H）×305（W）×170（D）mm
重量	約3ｋｇ（本体のみ）
電源	ACアダプタ
内蔵メモリ	128MB
スピーカー	直径60mm、最大2W
イヤホン端子	3.5mmプラグ、ステレオ
外部マイク端子（LINE IN）	3.5mmプラグ、モノラル
AMアンテナ端子	ピンジャック
FMアンテナ端子	端子台
USB端子	miniBタイプ
電源入力端子	ACアダプタ用
チューナー部	
チューナー	FM／AM電子チューナー
チューナー感度	FM：5μV at S/N=26db AM：68dbμV at 1000kHz
周波数プリセット	FM／AM各最大10局
可聴周波数	FM76～108MHz、AM522～1620KHz

録音部	
録音ファイル形式	MP3
録音ビットレート	AM録音　：16Kbps/11KHz、32Kbps/16KHz、64Kbps/22.05KHz
	FM録音　：16Kbps/11KHz、32Kbp/22.05KHz、64Kbps/22.05KHz、96Kbps/44.1KHz、128Kbps/44.1KHz
	ライン録音：32Kbps/11KHz、64Kbps/22.05KHz、96Kbps/44.1KHz、128Kbps/44.1KHz、160Kbps/44.1KHz、192Kbps/44.1KHz
週間プログラムタイマ	予約件数 最大20件
録音時間（内蔵メモリ）	ビットレート 16Kbpsで約17時間
メモリカードスロット	最大512MBまで使用可能
再生部	
再生ファイル形式	MP3、WMA、RVFファイル
リピート再生	全曲1回、全曲リピート、1曲1回、1曲リピート、ランダム1回、ランダムリピート、A-B間リピート、ワンタッチリピート2秒、4秒、8秒、16秒
MP3再生ビットレート	16kbps～320kbps
WMA再生ビットレート	64kbps～192kbps
PCインターフェース	
PCインターフェース	USB 2.0 フルスピード
対応OS	Windows 98、98SE、Me、2000、XP 注）98、98SEはドライバーソフトが必要になります。（P.90参照）

仕様（つづき）

その他	
使用条件	温度　0℃～40℃
ACアダプタ	入力：AC100V 50/60HZ、20VA 出力：DC12V 830mA
標準付属品	専用USBケーブル、オーディオケーブル、AMループアンテナ、FMフィーダアンテナ、マイクロホン、ACアダプタ、取扱説明書

※ 外観、仕様は予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。

保証規定

1. 保証期間内に、取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書きによる正常なご使用状態において万一故障した場合は無料で修理いたします。
2. 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
   (1) 保証書をご提示されないとき。
   (2) 保証書の所定事項の未記入、字句を書き換えられたもの、および販売店名の表示がないとき。
   (3) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災、公害や異常電圧による故障および損傷。
   (4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下等お取り扱いが不適当なために生じた故障および損傷。
   (5) 取扱説明書に記載の使用方法、注意に反するお取り扱いによって発生した故障、または損傷。
   (6) 改造または、ご使用者の責任に帰すと認められる故障、または損傷。
   (7) 接続している他の機器、その他外部要因に起因して本製品に故障を生じた場合。
   (8) 消耗品の交換。
   (9) 出張修理の場合（出張経費および技術料）。
3. 修理を依頼される場合は、当社へ保証書を添えてお送りください。
4. 本製品が、ご贈答品等で修理を依頼される場合はユーザーサポートセンターにご相談ください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

※保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理を約束するものです。

したがって本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

保証書

［保証期間］１年間

［品名・型名］ボスマスター　RIR-200

本書は、保証規定に記載された条件に基づいて、１年間の無償修理をお約束するものです。

修理をご依頼される場合、本書の提示が必要となりますので、大切に保管してください。

尚、本書の再発行は致しませんのでご了承お願い致します。

（修理は現品をお送りいただいて、お預かりの上行います）

上記期間内に初期不良等の故障が発生した場合は、故障状況を書いたメモを同封のうえ
下記まで修理をお申し付けください。

〒483-8555　愛知県江南市古知野町朝日250

サン電子株式会社ボイスラボ

ユーザーサポートセンター

TEL 0587-55-9800（または0587-55-2154）　FAX 0587-53-7616

受付時間 10:00 ～ 16:00（12:00 ～ 13:00・土日祝日・当社指定休業日を除く）

販売店印（店名・販売日）

◇ 当社より直接購入された場合は、納品書に販売証明書が添付されますので
本保証書と共に大切に保管し、修理の際は、両方ご提示ください。

ご案内

◇ 本製品の使用中に故障が発生した場合には、販売店またはサン電子株式会社にお問合せください。

交換、修理（有・無償）、払戻しおよび部品保有期間、またその他の補償規定は消費者保護法の補償基準に準じます。

◇ 本製品に関する質問など、詳細な事項はサン電子株式会社にお問合せください。

お問合せのときは、次のことをお知らせください。

・商品名 / 型名

・お買い上げ年月日

・お問合せ内容：できるだけ詳しく

お問い合わせ先

◇パソコン関係以外のお取り扱い方法に関するお問い合わせ
0120-501355（9:00-21:00、年末年始を除く土日祝も受付）

◇修理、パソコン関係を含むお取り扱い方法に関するお問い合わせ
TEL 0587-55-9800
受付時間 10:00-16:00（12:00-13:00、土日祝日、当社指定休業日を除く）

◇ホームページからのお問合せ
http://www.sun-denshi.co.jp/からVoiceLabのページへ

サン電子株式会社
ボイスラボ
〒483-8555　愛知県江南市古知野町朝日250
電話番号　0587-55-2154